

第35回 定例理事会

議 事 録【正】

平成29年4月24日

公益財団法人 劇場演出空間技術協会

公益財団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

## 第35回 定例理事会 議事録 (正)

日 時：平成29年4月24日 (月) 14:00～17:20

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：森健輔会長、小柳聡副会長（総務担当）、  
西奈美博副会長（事業担当）  
大志万公博副会長（財務担当、広報担当）、  
小川幹雄（国際渉外担当）、  
崎山征雄（コンプライアンス担当）、  
山田芳久（業務担当、規程改訂作業部会）、  
河瀬靖憲、鈴木伸一、西村岩夫、伊東(市来)邦比古、伊東正示

欠席理事：佐藤壽晃専務理事（事務局・国内渉外担当）、  
長谷川祥久、阿部茂樹

出席監事：尾澤輝行、間瀬勝一

欠席顧問：高田一郎

事務局：中川堅司（事務局長）

オブザーバー：中村剛（尾澤会計事務所）

有効理事総数 15名、出席理事 12名、欠席理事 3名

出席率 80% 監事2名、事務局1名+オブザーバー1名、計16名

議事録署名人（書記）

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 15名中、12名の出席、監事2名、事務局1名、オブザーバー1名にて本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

#### 議事

#### 3. 報告事項

- |                |          |         |
|----------------|----------|---------|
| 1) 業務報告        | 森健輔会長    |         |
| 2) 事業報告        | 西奈美博副会長  | 資料-閲覧資料 |
| 3) 総務報告        | 小柳聡副会長   | 資料-閲覧資料 |
| 4) 財務報告、広報活動報告 | 大志万公博副会長 | 資料-財務報告 |
| 5) 規程改訂作業部会報告  | 山田芳久理事   |         |
| 6) コンプライアンス報告  | 崎山征雄理事   |         |
| 7) 国際協力報告      | 小川幹雄理事   |         |
| 8) 事務局報告       | 中川堅司事務局長 |         |
| 9) その他         |          |         |

#### 4. 審議事項

- |       |   |        |
|-------|---|--------|
| 第1号議案 | 平成28年度事業報告 承認の件                             | 資料-2-1 |
| 第2号議案 | 平成28年度収支決算報告 承認の件                           | 資料-2-2 |
| 第3号議案 | 規程改訂の件                                      | 資料-3   |
|       | イ. 役員選任規程                                   |        |
|       | ロ. 寄附金等取扱規程                                 |        |
|       | ハ. 財産管理運用規程                                 |        |
|       | ニ. 特定費用準備資金等の取扱規程                           |        |
|       | ホ. 情報公開規程                                   |        |
|       | ヘ. 個人情報保護規程, 個人情報保護に関する基本方針, 特定個人情報に関する取扱細則 |        |
|       | ト. 倫理規程 (自主行動基準)                            |        |
|       | チ. 定款の変更、解散等に関する規程                          |        |
|       | リ. 文書管理規程                                   |        |
| 第4号議案 | 日生バックステージ賞候補者の件                             | 資料-4   |
| 第5号議案 | 正会員 C 奥畑康夫氏 会員種変更の件                         | 資料-5   |
| 第6号議案 | 賛助会員 A (株) 橋田舞台設備 会員種変更の件                   | 資料-6   |
| 第7号議案 | 賛助会員 A (株) 橋田舞台設備 橋田氏、佐々木氏、川添氏<br>機構部会入部の件  | 資料-7   |
| 第8号議案 | 賛助会員 A (株) エス・シー・アライアンス 溝田博和氏音響部会退部の件       | 資料-8   |
| 第9号議案 | 賛助会員 A (株) エス・シー・アライアンス 甲斐哲治氏音響部会入部の件       |        |

		資料-9
第 10 号議案	東広島芸術文化ホール 日本建築学会見学会への後援の件	資料-10
第 11 号議案	世界劇場会議名古屋フォーラム 2017 後援名義使用許可について	資料-11
第 12 号議案	技術展 2018 (仮) について	資料なし
第 13 号議案	JATET 誌 81 号について	資料-12
第 14 号議案	JATET リーフレットについて	資料-13
第 15 号議案	Inter BEE 2017 協力名義の使用許可お願いの件	資料-
14		
第 16 号議案	賛助会員 B 吉田廣嗣氏退会の件	資料-15
第 17 号議案	青池佳子氏 アールエムトラスト (株) 正会員 C 入会申込の件	資料-16
第 18 号議案	総会次第承認の件	資料-17
第 19 号議案	星乃もと子氏 (有)シアターマネジメントプラン 正会員 C 入会申込の件	資料-18

## 5. その他

1) 新年度に当たって

森会長

間瀬監事

2) 日本建築学会佐藤慎也氏 JATET 会員入会について

3) 第 36 回定例理事会開催日程について

4) 閉会

## 1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

## 2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人の選出。出席理事の中から議長が山田芳久を指名し、同氏はこれを受諾した。

## 3. 報告事項

### 1) 業務報告

森会長(資料-議事録)

下記の通り、第 3 4 回定時理事会以降の業務報告がされた。

平成 29 年 3 月 13 日（月） 14:30～ 第 10 回事業執行連絡委員会

平成 29 年 4 月 12 日（水） 14:30～ 第 11 回事業執行連絡委員会

### 2) 事業報告

西奈美副会長(閲覧-事業報告)

各部会の活動報告については閲覧で回覧している。その中で教育研修部会では 3/16 に埼玉県蓮田市総合文化会館で見学会を開催した。参加者数は計 57 名（うち、会員 51 名 非会員 6 名）。また、昨年 11 月に見学会を開催した南陽市文化会館の特集を JATET ジャーナル Vol. 12 として 4 月 1 日に発行した。事業としては平成 28 年度事業としている。蓮田市総合文化会館の特集については、JATET ジャーナル Vol. 13 として 5 月発行予定である。

機構部会では前回の理事会で審議いただいた JATET-M-6010-2「吊物制御盤・操作盤の周囲環境に対する指針」改訂版を HP で公開した。

広報部会の JATET リーフレットについては広報担当理事の大志万副会長よりご報告する。

JATET 技術展 2018 (仮) について、総務担当の小柳副会長から報告してもらうが、展示会場場の「スペースゼロ」は 2018 年 1 月 22 日～25 日開催で、すでに前金を支払い済である。セミナー会場は後ほどの審議事項であるが、「座・高円寺」で進めている。実行委員会は 5 月の開催を目指し、現在日程を調整中である。

日本劇場技術者連盟 国際劇場産業展との連携提案が、齋藤譲一理事長より JATET と連携していきたいとの呼びかけがあった。2017 年度も 12 月 6～8 日に東京ビッグサイトで展示会/セミナーが決定している。今後、JATET も連携を模索し、展示会/セミナーの拡大や効率化などを通じて、会員の拡大や公益への貢献に向けた検討をしてはどうかと提案された。

### 3) 総務報告

小柳副会長(資料-閲覧)

事務局関連及び請求書等の資料閲覧。

4月1日より中川臨時事務局長が正式に事務局長として就任された。

来年1月開催のJATET技術展2018(仮)について、展示会場スペースゼロに前金として会場費の半額 ¥783,000を3月に支払済である。

新年度に入って、JATET誌の寄贈についての手順として、判断基準の作成を事務局と一っしょに取り組む予定である。

#### 4) 財務状況及び広報活動報告

大志万副会長(資料-財務報告)

4月3日に尾澤会計事務所と平成28年度の決算を済ませ、4月12日に両監事の監査を受け、監査報告書を受領した。平成28年度決算報告は本日の議案としての審議事項である。

前回の理事会で、まだ数社に留まっていたJATET79号80号(合併号)の広告費は、年度末までに全て入金済である。

会費の未納は、賛助会員A トラストサービス(株)1社、賛助会員B 中俣美沙氏1名。トラストサービス(株)は念のため年度末まで支払いを待ったが、平成27年度および28年度の会費未納につき、第34回定例理事会での決議に従い、資格喪失となる。5月の総会で報告予定である。

広報活動報告としては、リーフレットの作成で活動してきたが、本来なら前回のJATETフォーラムの時に配布するべくやってきたが、意見、考え方の違いで統一できなかったため、配布を先送りしている。後程、審議事項としてリーフレット作成の課題について説明し、皆さんに意見を伺いたい。

#### 5) 規程改訂作業部会報告

山田理事

第34回定例理事会にて、理事会承認が必要な8規程(「寄付金等取扱規程」、「財産管理運用規程」、「特定費用準備資金等の取扱規程」、「情報公開規程」、「個人情報保護規程」、「特定個人情報に関する取扱細則」、「倫理規程(自主行動基準)」、「定款の変更、解散等に関する規程」と「個人情報保護に関する基本方針」)を配布し、内容を見てコメントをいただきたいとお願いした。本日までに意見やコメントがなかったので、前回の理事会で配布した内容で本日審議願いたい。

前回の理事会で配布しなかった「文書管理規程」と「役員選任規程」については、本日初めてみていただくことになる。「文書管理規程」は理事会の承認が必要な規程である。「役員選任規程」については、平成28年度選挙管理委員長の桂川氏の意見を参考とし、選挙管理委員の会員種別と人数、選挙管理委員会と開票等での選挙委員の出席者の緩和案、投票用紙に候補者の略歴や記入欄などの追加、候補者にかかわる意見その他の公表等について改訂している。この規程は総会で承認の必要があるため、次回の選挙に間に合うように、ぜひとも今回の理事会で承認いただき、今

年度総会の議案として審議していただきたい。

- 6) コンプライアンス報告  
報告事項なし。

崎山理事

- 7) 国際協力報告

小川理事(資料-国際渉外)

KTL(韓国産業技術試験院)との覚書(MOU)の調印をすることについて、第34回定例理事会において審議して承認された。そこで、今年度の総会にKTLを招待して覚書調印の申し入れをしていた。昨日メールにて回答があったため、佐藤専務理事と電話で協議した結果と合わせて経過報告する。

メールの内容によると、5/23の総会にKTLから4名が来日する。メンバーは、

KTL院長 Mr. Won-Bok LEE

劇場安全センター理事 Dr. Duncan KIM

システム障害分野理事 Dr. Sang-Hun KIM

渉外担当理事 Mr. Tae-Young KIM

費用は全部、KTLが持つとなっているが、再確認する予定である。佐藤専務理事の意見としては、ホテル代だけはJATETでもつことにしたいとのことであった。国際渉外担当理事の立場としても賛成である。問題なければ、その方向で進めたい。事務局へのお願いとして、調印式をどこで、どのタイミングでやるかを検討してほしい。

7/1~7/9まで台湾の台北でOISTATの関係でWSD(World Stage Design)という展示会が開催される。舞台美術家協会や他の協会では見学ツアーを計画しているようである。情報が入り次第報告する。

- 8) 事務局報告

イ. 内閣府情報

中川事務局長(閲覧資料-内閣府情報)

内閣府 公益法人メールマガジン第18号(平成29年3月8日発行)を閲覧

内閣府 公益法人メールマガジン第19号(平成29年3月22日発行)を閲覧

内閣府 公益法人メールマガジン臨時号(平成29年3月22日発行)を閲覧

内閣府 公益法人メールマガジン第20号(平成29年4月5日発行)を閲覧

内閣府 公益法人メールマガジン第21号(平成29年4月19日発行)を閲覧

ロ. 経済産業省情報&総務省

中川事務局長(閲覧-経済産業省情報)

外国為替及び外国貿易法に基づく対北朝鮮の輸出入禁止措置について、2年間延長が決定したとの通知があったので閲覧資料として回覧する。

財務省の外国為替室長から、この延長処置を受けての確認任務履行について

てとして北朝鮮への送金や受取に関する注意事項の書面が届いているので  
閲覧する。

ハ. JATET ニュース発行について 中川事務局長(資料なし)

JATET ニュース第 178 号 (平成 29 年 2 月 27 日配信)

JATET ニュース第 179 号 (平成 29 年 3 月 10 日配信)

JATET ニュース第 180 号 (平成 29 年 3 月 29 日配信)

配信済みである。

JATET ニュース第 181 号は 4 月末頃に配信し、総会の案内も載せる予定であ  
る。

ニ. 会員情報 中川事務局長(閲覧資料)

賛助会員 B 吉田鋭治氏 住所変更

正会員 C 奥畑康夫氏 賛助会員 B に会員種変更 審議事項

賛助会員 A (株) 橋田舞台設備 は正会員 A に会員種変更 審議事項

賛助会員 A (株) 橋田舞台設備 川添基将氏、佐々木勝彦氏、橋田太知氏  
機構部会入部願い 審議事項

賛助会員 A (株) トラストサービス 会員資格喪失 総会で報告

賛助会員 A (株) エス・シー・アライアンス 溝田博和氏音響部会退部 審  
議事項

賛助会員 A (株) エス・シー・アライアンス 甲斐哲治氏音響部会入部 審  
議事項

正会員 C 吉村道彦氏登録情報変更

正会員 A (株) JVC ケンウッド・アークス登録情報変更

賛助会員 B 吉田廣嗣氏 退会 審議事項

ウシオライティング(株) 代表者変更

賛助会員 B 西豊彦氏勤務先住所変更

青池佳子氏 アールエムトラスト(株) 正会員 C 入会申込 審議事項

星乃もと子氏 (有)シアターマネージメントプラン 正会員 C 入会申込 審議  
事項

以上を閲覧資料として回覧する。

ホ. 諸団体情報 中川事務局長(閲覧資料-諸団体情報)

全国舞台テレビ照明事業協同組合の総会・懇親会案内

公益法人協会資料

世界劇場会議名古屋フォーラム 2/9, 10 開催の事業報告書



全国公文協の久留米大会の開催概要資料  
等々

届いている資料を閲覧する。

へ. 会費納入状況&書籍販売状況 中川事務局長(閲覧資料-会費納入状況)  
大志万副会長よりの報告通りである。

規格販売状況(別紙資料参照)として

吊物機構安全指針 3冊

音響のプロオーディオ音響技術 CD 1枚  
がでた。

ト. 請求書情報 中川事務局長(閲覧資料-請求書情報)  
閲覧資料の通りであるので、目通し願う。

チ. HPについて 中川事務局長(資料なし)  
適時更新している。

最近では、部会員の名簿、役員名簿を更新した。

リ. 事務局関連 中川事務局長(閲覧資料-事務局関連)  
・(一社)日本電設工業会より 中川事務局長へ電設技術5月号の執筆依頼があり、対応した。

・ABTT 書籍の翻訳作業を西広報副部長(建築部会員)と中川事務局長で4月よりポータルサイトの翻訳機能を利用しながら進めていく。図版は外部に依頼する予定で費用が発生する。また、西広報副部長の作業分についても無償とはならないので費用が発生する。別途見積をもらって対応する予定である。ロンドン在住の会員、田中伊都名氏が ABTT との接点があるので、来日中に相談する機会を持つ予定である。

・平成29年度通常総会は、5月23日(火)14:00~で決定している。

これまで無料としていた総会後の懇親会は、今年度より有料化で開催する。開催案内および出欠確認は5月初旬に発送予定である。

9) その他

中川事務局長

本日の審議事項 第10号議案「東広島芸術文化ホール 日本建築学会見学会への後援の件」は、日本建築学会より、本日の理事会までに正式な書面で後援依頼が出てくることになっていたが、手続きの遅れで停滞しているようである。正式な書面がでないため、本日長谷川理事が、資料-10の内容で説

明して審議してもらう予定であったが、急遽欠席となってしまった。従って、本日は審議事項ではなく、報告事項とする。

東広島の見学会は、教育研修部会が本年度の事業計画の中で計画している。日本建築学会とは今後とも良好な関係を継続するように、GW明けに西奈美副会長と中川事務局長が日本建築学会の事務局を訪問挨拶する予定であるので、その際に、協会同士で進めることを申し入れて、後援依頼がきたら理事会で審議にかけるという正式ルートで対応したい。

長谷川理事からの要望は、後援（予定）という表現で情報公開可否について、本日の理事会で審議してもらいたいということである。長谷川理事から送られてきた実施計画書では、8/30（水）に見学会が実施され、理事会8/25を予定しているので、後援（予定）としておいて、正式には8/25理事会で承認することで対処可能となる。

鈴木理事より、本件は京都会館の後援問題の再発を防止する意味において、開催間隔のあく理事会での承認マターにするのではタイムリーに対応できないため、執行理事の判断で許可を出せるようにするべきという意見があった。議長からの発言により、予定通り審議事項として審議することになった。

#### 4. 審議事項

- 1) 第1号議案 平成28年度事業報告書 承認について 中川事務局長(資料-2)  
資料-2が総会の議案書の中に入る内容である。

##### ① 総会について

平成28年5月26日にホテルローズガーデン新宿のローズルームで開催した。審議事項としては、第1号議案が平成27年度事業報告承認の件、第2号議案が平成27年度収支決算報告承認の件、第3号議案からが規程関係である。

第3号議案が社員総会運営規則承認の件、第4号議案が理事の職務権限規程承認の件、第5号議案が監事規程承認の件、第6号議案が役員の報酬及び費用に関する規程承認の件、第7号議案が役員選任規程承認の件と議案の承認が通った。

役員選任規程の承認を受けたあとに、選挙という形で第8号議案から第24号議案までの立候補者の理事、監事の就任が審議された。桂川選挙管理委員長から小口氏と児玉氏の選挙管理委員の紹介があり、立候補者と選挙方法の説明があった。出席者23名、代理出席者2名、委任2名の人数を確認して投票用紙が配布され、投票が行われた。会場投票と議決権行使の投票合わせて、選挙管理委員の開票作業が行われた。開票結果より第8号議案から第24号議案の理事、監事の就任が承認された。

報告事項として、第1号報告として平成28年度事業計画の報告の件、第2号報告として平成28年度収支予算の報告の件 を佐藤専務理事が行った。

## ② 理事会について

平成 28 年度については、定例理事会を 6 回開催した。詳細は割愛する。

第 29 回定例理事会は、平成 28 年 4 月 26 日に開催し、審議事項として第 1 号議案から 16 議案まで審議され、可決した。

第 30 回は、臨時理事会として平成 28 年 5 月 26 日総会のあとにホテルローズガーデン新宿で開催された。第 1 号議案 役職理事選任の件、第 2 号議案 業務担当執行理事の件、第 3 号議案 顧問選出の件、第 4 号議案 規程改訂作業部会委員長選任の件、第 5 号議案 中川堅司氏規程改訂作業部会外部オブザーバー就任の件、第 6 号議案 JATET 誌 79 号 80 号記事内容について、第 7 号議案 間瀬監事よりの提案の件で審議され、すべて可決された。

第 31 回定例理事会は、平成 28 年 8 月 26 日に開催し、主に理事会で承認しなければならない第 1 号議案 JATET 総則から第 11 号議案の修正入会規程までを審議した。

第 12 号議案 JATET フォーラム 2016/17 開催について、第 13 号議案 JATET 誌 79 号 80 号について、第 14 号議案 演出空間用 LED 照明器具の銘板類の表示規格については、次の第 32 回臨時理事会で審議することになった。

第 15 号議案、第 16 号議案、第 17 号議案、第 18 号議案までは可決された。第 19 号議案から第 27 号議案までは、次の第 32 回臨時理事会で審議することになった。

第 32 回臨時理事会は、平成 28 年 9 月 14 日に開催され、第 31 回定例理事会で審議できなかった議案を審議して、可決された。

第 33 回定例理事会は、平成 28 年 11 月 25 日に開催され、第 1 号議案から第 11 号議案まで審議され、すべて可決された。

第 34 回定例理事会は、平成 29 年 2 月 24 日に開催され、第 1 号議案から第 12 号議案まで審議され、すべて可決された。

## ③ 委員会について

まず、年度初めでは旧体制であったので、執行理事会運営委員会を平成 28 年 5 月 17 日に開催した。総会後の新体制で、第 1 回事業執行連絡委員会が平成 28 年 6 月 28 日に開催され、以降 7 月 14 日、8 月 1 日、9 月 5 日、10 月 11 日、11 月 7 日、12 月 14 日、1 月 16 日、2 月 6 日、3 月 13 日と第 10 回まで毎月開催した。

## ④ JATET 部会報告について

教育研修部会については、部会は 10 回開催し、南陽市と蓮田市の見学会を実施した。見学会に合わせた JATET ジャーナルの発行については、11 月に新国立劇場オペラ劇場と 4 月に南陽市文化会館を発行した。

建築部会は、定例部会を 6 回、その他分科会を開催し「劇場・ホールの改修

プロジェクト調査研究」の協議、平成 28 年 4 月に発生した熊本地震の被害状況調査を実施した。熊本地震の被害状況調査は、全国公立文化施設協会と共同で実施し、JATET フォーラム 2016/17 セミナーで調査結果を報告した。

機構部会は、8 月、3 月を除く毎月部会を開催し、JATET 指針、規格等の見直しとして、「JATET-M-6030 吊物機構安全指針・同解説」、「JATET-M-6010 舞台機構制御盤・操作盤の周囲環境に対する指針」の改定を行った。吊物機構安全指針・同解説の改定のために、研究会を発足させて計 6 回開催し、指針の見直しを実施した。JATET フォーラム 2016/17 では、東京と大阪の会場で「吊物機構安全指針・同解説」の解説を行った。

照明部会は、定例会を 6 回、「演出空間用 LED 照明器具表示規格研究会」を 5 回、JATET フォーラム 2016/17 の為の分科会、事前検証会を開催した。「LED 演出照明設備調査研究会」は 6 回開催した。JATET フォーラム 2016/17 ではセミナーを開催した。詳細は、資料 2-13 の通り。

音響部会は、定例会を 6 回開催し、JATET フォーラム 2016/17 ではセミナーとシンポジウムを開催した。

映像部会は、資料 2-14 の通り技術動向を把握し、部会・研究会を 8 回開催した。

広報部会は、隔月に 1 回として定例会を 6 回開催し、主に JATET リーフレットの内容の検討と原稿作り、前半では広報部会規程について、後半では公益法人としての広報活動の在り方を検討した。JATET フォーラム 2016/17 では運営に協力した。

#### ⑤ JATET フォーラム 2016/17 について

東京会場は平成 29 年 1 月 30 日・31 日に「座・高円寺 2」で開催、参加者は両日でのべ人数で 300 名を超えた。懇親会は 85 名の参加があった。

大阪会場は平成 29 年 2 月 17 日に「ピッコロシアター」で開催、参加者は 72 名、懇親会は 50 名の参加があった。

ガイドラインは、両会場合わせて照明が 60 冊、機構が 78 冊の申し込みがあった。

#### ⑥ JATET 誌について

JATET 誌 79・80 号（合併号）は、JATET フォーラム 2016/17 のセミナー資料として、オールカラーで 3,200 部を発行した。東京・大阪の両会場で約 400 部を配布し、全国の主要公共ホール、公共劇場については約 1,400 部を無料配布、100 部を関係官庁、関連団体に配布、1000 部を JATET 会員及び広告主に配布した。

⑦ JATET ニュースについて

2016年4月14日に第163号から2017年3月29日に第180号を発行して、計18回発行した。読者数は、昨年度末に2,000人を超え、2,100人になった。以上の説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。

2) 第2号議案 平成28年度収支決算報告 承認の件 中川事務局長(資料-2)

資料2の引き続きで、2-18ページ、資料2-2、A3版のものを参照。2-18については、正味財産増減計算書平成28年4月1日から平成29年3月31日までの損益である。細かいところについてはA3版2-20で説明する。経常収益は昨年度と今年度の比較で増減をしている。本年度については経常収益が24,258,240円、経常費用については事業費が17,733,737円でした。裏面で管理費が7,308,857円、経常費用の計が25,042,594円。A3版2-20で一般財産の増減の部として、受取入金金については、正会員Cが2名、賛助会員Aが3社、賛助会員Bが1名で355,000円。受取会費については、正会員Aが19社、Bが5団体、正会員Cが36社を含め、賛助会員Aが26社、賛助Bが44名、特別賛助は10団体で15,290,000円。先ほど報告の通り、賛助会員Aのトラストサービスが会費未納により会員資格喪失になり、本年度の総会で報告される。中俣美沙さんが会費未納の状況である。

事業収益については、JATETフォーラムのセミナー開催収益、発刊物の販売、施設見学会の開催、JATET誌の広告収益、等々あって、8,612,992円。合計して経常収益が24,258,240円になっている。その裏にある経常費用の中の事業費は合計17,733,737円。それぞれの下の段にあるのが、個別の事業関係の費用。2-22ページの管理費が合計で7,308,857円。先ほどの事業費と管理費の合計が経常費用になり25,042,594円、当期経常増減額はマイナス784,354円となり、正味財産の期末の残高が12,556,500円になり、先ほどの計算書の通りになる。

2-23ページ 固定資産については減価償却し、特定資産の増減は、昨年度は1,100,000円減少して、新たに800,000円増え、当初4,600,000円が期末で4,300,000円になった。

次のページに特定資産の明細の中で特定費用準備資金4,300,000円がある。財産目録については、現金と預金が各銀行、ゆうちょ銀行にそれぞれ表に記載の通り合計6,968,447円ある。固定資産の合計は、5,962,817円。資産の合計が、12,931,264円。流動負債については、表に記載の通りで負債の合計が、374,764円。正味財産12,556,500円が、平成29年3月31日現在の状況である。

2-25は参考資料であるが、公益目的事業比率が50.4%である。遊休財産の保有制限については、保有上限額12,461,996円に対して、6,766,493円であるため、適合している結果である。

以上の説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。

3) 第3号議案 規程改訂の件について

中川事務局長(資料-3)

先に規程改訂作業部会担当の山田理事より報告したように前回の理事会で配布した規程(「寄付金等取扱規程」、「財産管理運用規程」、「特定費用準備資金等の取扱規程」、「情報公開規程」、「個人情報保護規程」、「個人情報保護に関する基本方針」、「特定個人情報に関する取扱細則」、「倫理規程(自主行動基準)」、「定款の変更、解散等に関する規程」と今回新たに「文書管理規程」がある。また、「役員選任規程」が、総会で審議し、承認してもらう規程であるので、改定案として資料3-1で説明する。

イ. 役員選任規程について

目的は、定款第27条に基づいて役員選任に関して必要な事項を定めることである。「役員の任期」、「解任」、「役員を選任」については定款の文言通りである。

大事なところは、3-2の「選任手続」で、1項から4項までは現行の通り、新たに5項で、「立候補者は、以下の事項が投票用紙に記載されることを承諾した上で、それらを選挙管理委員会が定めた期日内に届け出なければならない。」として、立候補者が届け出なければならない事項をわかりやすいように番号を付けて箇条書きにした。

- ・氏名は、戸籍記載の姓名とする。芸名、筆名等をかっこ書きで併記することができる。
- ・年齢は、届け出時点の年齢
- ・JATET会員種は、入会規程に規定する、正会員A、正会員B、正会員Cの別。
- ・所属は、勤務または経営する会社名または所属する団体名、自営、無職等を届け出る。
- ・所属先役職は、上記の役職名。自営または無職の場合は届け出不要。
- ・主な専門分野は、劇場演出空間技術にかかわる主とする専門分野。それ以外の分野を専門とする場合は「劇場演出空間技術以外の分野」とする。
- ・JATET役職・在任期間は、JATETの会長、副会長、専務理事、理事、監事、部会長副会長の別、その在任年数。
- ・会員歴は、JATET正会員であった年数。

これらをすべて届け出たうえで選挙に諮るとしている。

第8条「選挙」については、1項から4項までは現行通りである。5項と6項について、前選挙管理委員長桂川さんに十分にチェックしていただいて、実際に選挙管理委員が選挙にあたり、悩むことのない、間違いのない管理ができるように改訂した。

まず、5項において、

- (1) 正規の投票用紙を用いていないものは無効投票とする。
- (2) 理事の選挙においては21人超、監事の選挙においては3人超の投票は無効投票とする。
- (3) 投票欄に○印以外を記入または投票欄以外に意図的に記入した投票は無効投票とする。但し、投票を書き直したものと選挙管理委員会が判断したものは有効とする。

(4) 信任投票において、賛否いずれも○印の記入が無い投票は、「否」への投票として扱い、有効投票に含める。賛否両方に○印を記入したものは無効票とし、他の投票欄に有効な投票があれば、有効投票者数に加える。

(5) その他、選挙管理委員会で無効と判定したものは、無効投票または無効票とする。

として、投票の扱いを明確にした。

また、6項の開票の扱いにおいて

(1) 最低得票数は、有効投票者総数の半数以上とする。

(2) 最低得票数を得票した候補者から得票数の高い順に役員に選出する。最低得票数を得票できた候補者数が理事及び監事の定数以内の場合は、全員が役員に選出される。最低得票数を得票できた候補者数が理事及び監事の定数を超える場合は、理事及び監事の定数最大値の順位の候補者まで選出する。

(3) 前項後段により選出されなかった候補者で、得票が最大の候補者は次点者となる。

(4) 最低得票数を得票できなかった候補者は次点者になれない。

(5) 理事及び監事の定数最大値の順位で同点の候補者は、協会正会員歴の長い候補者を優先する。

(6) 理事及び監事に欠員が生じ定数最小値を下回った場合は、当該役員選挙の次点者が役員に就任する。

として、文言を整理した。

また、選挙管理委員会については、第9条の3項のところ、選挙管理委員は従来、正会員A、B、Cの中から1名ずつ、合計3名を選任するとあったが、改訂案では正会員の中から5名を選んで選挙管理委員会を構成するとし、4項でその5名の過半数、すなわち3名が出席すれば選挙管理委員会が成立するとして、リスクを回避する形にした。その他は、ほとんど変更していないが、施行については、社員総会に諮るため、社員総会の翌日、5月24日から施行としている。

以上の説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。

#### ロ. 寄付金等取扱規程について

3-5~3-7は、前回の理事会で配布した内容から変更していない。読んでもらって、特に理事の皆さんから配布後質疑はなかったとの山田理事の報告であるので、このままでよければ審議願いたい。

以上の説明のあと、審議に入り、大志万理事より、施行日が4月1日になっていることに対して指摘があり、中川事務局長から、施行日は本日の理事会で可決承認されたら、本日以降になると回答があった。

その後、決議が諮られ、全員一致で可決承認された。

#### ハ. 財産管理運用規程について

3-8～3-10 は、本協会の実態に合わせて、特に大志万副会長に読み込んでいただいてまとめている。先の規程と同様に施行については4月1日ではなく、理事会で承認された以降になる。

以上の説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。

#### 二. 特定費用準備資金等の取扱規程について

3-11～3-13 は、前回の理事会で配布した通りで、施行の日付を理事会承認後に修正する。以上の説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。

#### ホ. 情報公開規程について

3-14～3-16 は、前回の理事会で配布した通りで、施行の日付を理事会承認後に修正する。別表について、3-17 は閲覧に関するコピーの可否等の表で、3-18 が閲覧の申請書、3-19 が閲覧の受付簿であり、これに閲覧を記録して事務局で保管しておくものである。

以上の説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。

へ. 個人情報保護規程、個人情報保護に関する基本方針、特定個人情報に関する取扱細則については、前回の理事会で配布した通りで、3-20～3-24 が個人情報保護規程であり、この個人情報保護に関しては、規程以外に協会として基本方針をきちっと定める必要があるため、その基本方針を定めたのが3-25である。更に、特定個人情報といわれる個人番号は慎重に取り扱う必要があるので、3-26～3-27 の特定個人情報に関する取扱細則という形で定めた。

以上の説明のあと、審議に入り、西村理事より、「個人情報保護に関する基本方針」の文書表現だけが、「です。ます。」調であることの原因が質疑された。中川事務局長から、規程は組織としてのものであるが、「個人情報保護に関する基本方針」だけは個人情報を提供していただいた方に対して、協会として個人情報を大切に扱うことを宣言しているものであるため、「です。ます。」調であると説明があった。

その後、決議が諮られ、全員一致で可決承認された。

#### ト. 倫理規程（自主行動基準）について

3-28～3-29 は、この協会の自主行動基準で定めたもので、前回の理事会で配布した通りである。

以上の説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。

#### チ. 定款の変更、解散等に関する規程について



3-30～3-31 は、定款の第 54 条（定款の変更）、第 55 条（解散）、第 56 条（公益目的取得財産残額の贈与）第 57 条（残余財産の処分）にある文言をそのまま使っている。前回の理事会で配布した通りである。

以上の説明のあと、審議に入り、鈴木理事より、昨年度の総会で一昨年の総会で承認された定款を昨年の総会で内閣府の指導により変更したと報告事項として処理された。従って、定款の変更に関しては、本規程では総会決議が必要となっているが、内閣府の指導がその総会決議より上位にあることを規定する必要があるのではないかと質疑が出された。

審議の結果、第 54 条 2 項に行政庁の認定が受けなければならないと明記されていることで規程として不備はないとの結論に達した。今後も総会の審議事項は、規程を守って理事会でしっかり審議したうえで附議することを確認した。

その後、決議が諮られ、全員一致で可決承認された。

#### リ. 文書管理規程について

3-32～3-33 は、別に定められた事務局規程の第 4 条の文書による処理に基づいて、文書の取り扱いについて定めたものである。第 4 条（発信文書）にある会長名で出す文書は、文書管理台帳通りにすべて記載されこの通りに運用されていることを確認している。会長以外の専務理事名や事務局名で発信する文書も会長名での取り扱いに準じて行う。受信文書については、第 5 条で事務局長の責任で開封して、受付印、ナンバリングして配布をする。保存期限は、旧規程では永久保存はなかったが、登記に関する文書、定款、規程文書、行政庁等による検査・命令・指導に関する文書は永久保存する必要があるとして、規程に追加した。10 年保存は、総会議事録、理事会議事録等々の重要な文書、法令で義務付けられている文書とし、5 年保存は、計画書・予算書関係、役員の交代を考慮して、財産目録、役員等名簿、報酬等の基準として、それ以外は 3 年保存としている。廃棄については、保存期間を過ぎた文書は、その事業年度末を廃棄期限とする。ただし、会長が保存を必要と認めたものは除き、個人情報に記載された文書については個人情報保護規程に従って適切に廃棄することとしている。

以上の説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。

西村理事より、特定個人情報に関する取扱細則の第 6 条で責任者の確認を受けるとなっているが、ここでいう「責任者」はだれを指すのかとの質問があった。中川事務局長より、「個人情報管理責任者」は、個人情報保護規程の第 4 条で「専務理事」と定めていると回答があった。可決承認後であるが、特定個人情報に関する取扱細則も「責任者」を明確にする必要があるため「個人情報管理責任者」と訂正することを決定した。

#### 4) 第 4 号議案 日生バックステージ賞候補者について 中川事務局長(資料-4)

日生バックステージ賞候補者推薦について、第 34 回定例理事会において、会員から立候

補者を募ってみたいとの提案があり、JATET ニュースで配信したが立候補者なし。また、各部会でも募ったが、立候補者なし。期限が迫っているため、推薦いただくか、もしくは推薦者なしで回答するか、審議願う。

以上の説明のあと、審議に入り、本年は該当者なしで、全員一致で可決承認された。

- 5) 第5号議案 正会員 C 奥畑康夫氏 会員種変更について 中川事務局長(資料-5)  
正会員 C 奥畑康夫氏が賛助会員 B への会員種変更願いがあった。  
審議に入り、全員一致で可決承認された。
  
- 6) 第6号議案 賛助会員 A (株) 橋田舞台設備 会員種変更の件について  
中川事務局長(資料-6)  
(株) 橋田舞台設備の会員種変更届の通り、賛助会員 A から正会員 A に変更願いがあった。(株) 橋田舞台設備の会社概要は、先に閲覧資料にて回覧した。入会金については賛助会員 A (10 万円) と正会員 A (30 万円) の差額 (20 万円) を請求予定である。  
説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。
  
- 7) 第7号議案 賛助会員 A (株) 橋田舞台設備 川添基将氏、佐々木勝彦氏、橋田太知氏機構部会入部の件  
中川事務局長(資料-7)  
先程正会員 A への会員種変更が承認された(株) 橋田舞台設備より、川添氏、佐々木氏、橋田氏、3名の機構部会入部申し込みあり。  
説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。
  
- 8) 第8号議案 賛助会員 A (株) エス・シー・アライアンス 溝田博和氏音響部会退部について  
中川事務局長(資料-8)  
(株) エス・シー・アライアンスの音響部会員交代にあたり、溝田氏の退部届が提出された。  
説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。
  
- 9) 第9号議案 賛助会員 A (株) エス・シー・アライアンス 甲斐哲治氏音響部会入部について  
中川事務局長(資料-9)  
溝田氏に代わり、甲斐哲治氏が入部希望である。  
説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。
  
- 10) 第10号議案 東広島芸術文化ホール 日本建築学会見学会への後援について  
中川事務局長(資料-10)  
長谷川理事より、日本建築学会が8月30日に東広島芸術文化ホールの見学会を計画

しているとのことで、書面にて本日の理事会までに企画内容等々を提出すると事前に連絡があった。金曜日に案という形で計画書と予算が送られてきたが、正式な書面ではないため本日の理事会で審議にかけることができない。日本建築学会の理事会が5月に開催されると聞いているので、その理事会後に正式な後援依頼が届くと思われる。長谷川理事の依頼は、それまでの間、後援（予定）という形で情報公開許可を理事会で審議してほしいということである。報告事項のところでの鈴木理事の提案のように、日本建築学会の5月の理事会の後に正式書面で後援依頼が届き次第、すぐに執行理事の方々に審議して、了解されれば後援を許諾することにしたい。

審議の結果、長谷川理事の依頼の後援（予定）を事前に情報公開することは日本建築学会が見学会実施を正式に理事会承認しないかぎりにはできないことであるため、事前公開はあり得ないと考える。日本建築学会が正式に後援依頼を決定し、書面で依頼が届き次第、直ちに執行理事で検討して後援を許諾するという案が、全員一致にて、可決承認された。

1 1) 第11号議案 世界劇場会議名古屋フォーラム2017 後援名義使用許可について  
中川事務局長(資料-11)

11-1、世界劇場会議名古屋からフォーラムの後援名義使用許可についてという書面が届いている。11-2 が開催概要、11-3 が予算書、11-4 がチラシである。例年後援している。

説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。

1 2) 第12号議案 技術展2018(仮)について 中川事務局長(資料なし)

展示会場「スペースゼロ」は、2018年1月22日～25日開催決定済みである。セミナー会場の決定については、小川理事の尽力により最新動向では、1月25日・26日に座・高円寺を借りることで進めてもらっている。正式には5月1日以降が申し込み開始になるため、仮押さえしてもらっている。

小川理事より、前回の事業執行連絡委員会の討議では、1月22日からのスペースゼロでの展示に先駆けて1月18日・19日を座・高円寺でセミナー開催という説明をした。その後、全国公立文化施設協会が、1月17日～19日でアートマネジメントの研修会を実施されることが決まっていることが分かった。全公文の研修会に参加したいJATETの会員がおり、逆に全公文の劇場職員の方々がJATET技術展に興味があるという話も聞いている。日程がバッティングしていることは協会同士としてマイナスになるため、日程変更が可能か座・高円寺に確認した。佐藤専務理事、中川事務局長と相談して、1月22日～25日にスペースゼロで展示会を開催し、展示会最終日の1月25日とセミナーの初日がダブル形、1月25日(木)、26日(金)で開催する方向で、森会長、執行理事の方々にも了解いただいた。考え方として、同じ週

の平日に展示会もセミナーも実施して、一日 25 日がダブル形にすると地方から来られる方にとっては都合がいいと考えられる。座・高円寺には、25 日、26 日を仮押さえしてもらっている。5 月になれば正式に発表できることになる。

以上の補足説明があった。

セミナー会場を 1 月 25 日・26 日 座・高円寺で進めること、また、前回の技術展では、諸団体、協会、学会の共催、協力、後援を多数してもらっている。今後実行委員会で詳細を決めていくことになるが、前回と同規模で進めることの審議を行った

審議の結果、全員一致で可決承認された。

1 3) 第 1 3 号議案 JATET 誌 81 号について 中川事務局長(資料-12)

資料 12 の通りテトラロジックスタジオから、81 号の印刷スケジュールを出してもらった。12-1 が 8 月末に納品案と、12-2 が 9 月 11 日納品案の 2 パターン。

基本的なスケジュールとしては、5 月に執筆依頼、広告掲載依頼するために、5 月の連休明けぐらいからスタートになる。前回の事業執行連絡委員会でも意見が出たが、内容は JATET フォーラム 2016/17 のシンポジウムを中心に考えて、テーブル起こしをテトラロジックから見積をとって依頼することになっている。その他の内容としては、以前、JATET 誌の作成に当たっては各部会が持ち回りで編集責任を負って作成していたため、81 号からまた編集責任部会で内容等を検討してほしいと考えている。これまでのところでは、75 号が機構部会、76 号が建築部会、でその後特集号が続き、77 号は 25 周年記念、78 号は技術展特集、79・80 号はフォーラム特集となって編集責任が部会から離れた。また編集責任を部会に戻し、81 号からの持ち回りをどうするかを審議決定してもらいたい。

以降審議に入り、JATET 誌を原則年 2 回継続して発行していく上での編集体制や広告収入の確保等について意見や課題が出された。鈴木理事より、毎号の編集責任部会が中心になって進める場合でも、JATET 誌の質を維持していくためには、広報部会が編集に関わっていくようにすべきとの意見が出された。この意見も含めて JATET 誌の発行を持続的なものにするための課題について広報部会で整理をして次回理事会で審議することになった。また、崎山理事より、編集体制などの審議は次回理事会で行うとして、81 号については具体的な掲載記事があるのであれば、今回は広報部会に編集責任部会となってもらい編集を進めればよいのではないかと提案があった。

審議の結果、議案に戻って、81 号については編集責任部会を広報部会として進めることが全員一致で可決承認された。

1 4) 第 1 4 号議案 JATET リーフレットについて 大志万副会長(資料-13)

リーフレット 13-4、13-5 ページは、協会として初めての試みとして、昨年度に広報部会が一年かけて、1月の JATET フォーラムに間に合わせるべく最終案として作成したものである。作成までの間に関係者にはみていただきながら進めてきたが、最終段階になったら様々な意見がでてきたため、JATET フォーラムでの配布はとりやめた。本日、資料 13-1～13-3 の通り、作成の経緯、考え方、作成の過程でできた問題、課題を整理してきたので説明する。本日は時間もないので意見があれば出してもらい、次回の理事会で審議してもらいたいと考える。特に、7項のリーフレット作成を通して明らかになってきた問題点として、

一つ目、

- ・ JATET の広報活動の対象をどのように設定すべきか。  
即ち、一定の層、一定のゾーンに的を絞るのか。
- ・ 公益法人として会員の構成を今後どのように考えていくのか。

二つ目、

JATET マークの将来についてどう考えるのか。

これは、リーフレットの作成とは切り離して考えるべきもので、別の委員会などで審議するのが筋と思うが、JATET マークの今後の展開も含めて今後どのように考えていくのかを何らかの形で議論すべきことと思う。

意見を集約して、まとめ上げて作成しなければならないため、広報部会の最終案である 13-4、13-5 に一度よく目を通してもらい、次の理事会で意見を出していただき、JATET の総意としてのリーフレットを作成するという事で進めたい。

以上について、全員一致で可決承認された。

15) 第15号議案 Inter BEE2017 協力名義の使用許可お願いについて 中川事務局長  
(資料-14)

例年のことであるが、本年度は11月15日～17日で開催される Inter BEE2017 協力名義の使用許可お願いについて、全員一致にて、可決承認した。

事務局にて、Inter BEE 事務局に許可の連絡をお願いします。

16) 第16号議案 賛助会員 B 吉田廣嗣氏退会の件について 中川事務局長(資料-15)  
賛助会員 B 吉田廣嗣氏退会の件について、全員一致にて、可決承認した。

17) 第17号議案 青池佳子氏 アールエムトラスト(株)正会員 C 入会申込の件  
中川事務局長(資料-16)

青池佳子氏 アールエムトラスト(株)正会員 C 入会申込の件について、全員一致にて、可決承認した。

18) 第18号議案 総会次第承認の件について 中川事務局長(資料-17)  
資料-17で総会次第承認の件について、全員一致にて、可決承認した。

19) 第19号議案 星乃もと子氏(有)シアターマネジメントプラン 正会員C入会申込  
の件 中川事務局長(資料-18)  
星乃もと子氏(有)シアターマネジメントプラン 正会員C入会申込について、全員一致  
で、可決承認した。

以上で審議事項はすべて終了した。

## 5. その他

### 1) 新年度に当たって

森会長より、

前回の理事会で間瀬監事、尾澤監事よりの報告書の中に、決められたことをよく理解して責任と権限を全うするようにと書かれていて、鈴木理事からの発言にあったように、混乱を招くようなことのないように全員が協会運営に励むように協力をお願いしたい。合わせて現在、佐藤専務理事が病氣療養中であるため協会運営に支障があるかと思うけれど、皆さんの協力をお願いしたい。

と挨拶があった。

また、間瀬監事からは、

日本で唯一の協会であるので、この協会が活発に意見を交わして元気に進んでいかないとならない。皆さん個々の業務で忙しい中で、一つずつ進めていくようにご協力をお願いしたい。

と挨拶があった。

2) 日本建築学会 佐藤慎也氏の JATET 会員入会について (中川事務局長)  
賛助会員Bへの申込が、今回間に合わなかったため、次の理事会で審議の予定。

3) 次回「第36回定例理事会」の開催日程について  
2017年9月1日(金) 14:00～

### 4) 閉会





17時20分 森会長が閉会を宣言して終了した。

以上

平成 29 年 4 月 24 日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会  
第 35 回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 森健輔）	森 建輔	
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	
監事（間瀬勝一）	間瀬勝一	
議事録作成署名人（山田芳久）	山田芳久	

第36回 臨時理事会  
議事録（正）

平成29年5月23日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会



## 1. 開催日時及び場所

日 時：日 時：平成29年5月23日（火） 13:30～13:36  
場 所：ホテルローズガーデン新宿別館2階ローズルーム  
東京都新宿区西新宿8-1-3 TEL：03-3360-1533

## 2. 出席理事数及び出席者氏名

出席理事数： 15名（理事総数 15名）

欠席理事数： 0名

出席理事名：森健輔会長、  
小柳聡副会長（総務担当）、  
西奈美博副会長（事業担当）、  
大志万公博副会長（財務担当、広報担当）、  
佐藤壽晃専務理事（事務局・国内渉外担当）、  
小川幹雄（国際渉外担当）、山田芳久（業務担当・規程改訂作業部会）、  
崎山征雄（コンプライアンス担当）、  
阿部茂樹、伊東正示、伊東（市来）邦比古、河瀬靖憲、鈴木 伸一、西村岩夫、  
長谷川祥久

欠席理事名：なし

出席監事名：尾澤輝行、間瀬勝一

欠席監事名：なし

欠席顧問名：高田一郎

事務局：中川堅司（事務局長）

オブザーバー：中村剛（尾澤会計事務所）

有効理事総数 15名、出席理事 15名、欠席理事 0名

出席率 93%

事務局1名+オブザーバー1名、計16名

議事録署名人（書記）西奈美 博

議事要旨：臨時理事会

定足数確認：有効理事総数15名中、15名の出席、事務局1名、オブザーバー1名にて本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

## 3. 議事次第

1) 開会

2) 議長選出

3) 議事録記録署名人選出

4) 議事

（報告事項なし）

（審議事項）

第1号議案

審議事項1) 第1号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使について

資料なし

## 4. 議事の経過の概要とその結果

1) 開会

定刻13時30分

定款第34条の規定により、事務局長が定数を確認、理事会の成立を確認し、開会を宣言。

2) 議長選出

定款第42条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

### 3) 議事録記録署名人選出

定款第 46 条(議事録)の規定に従い議事録作成署名人の選出。今年度最後のまとめの理事会となるため、議長が副会長より西奈美博副会長を指名し、同氏はこれを受諾した。

### 4) 議事

報告事項なし

#### 『審議事項』

審議に先立ち、森会長より、

定款 第 3 章 社員総会（書面表決等）第 21 条には、

社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的記録により表決し、又は代理人によってその議決権を行使することができる。

2 前項の代理人は、代理権を称する書面を会議ごとに提出しなければならない。

3 第 1 項の場合における前 2 項の規程の適用については、その社員は出席したものとみなす。

4 社員総会に出席しない社員が書面によって議決権を行使することができることとするときは、理事会の決議によらなければならない。

理事会の決議は、総会の日時場所を確定するのと同じく毎回決議しなくてはならないが、前回、前々回の知事会とも他の審議に集中し欠落していたが、理事の方々よりご指摘がなかったため失念をしていたとの説明があった。

#### 第 1 号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使について

森会長より、本日の総会前に理事会の決議をいただかないと書面で議決権行使をしていたいただいた方の議決内容が無効になるので、ぜひともご賛同いただきたいとの説明があった。

第 1 号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使について審議に入り、全員一致で本件は可決承認され、本日の総会での書面による議決権は行使を認めます。

#### その他

佐藤専務理事より、長期療養の経過説明と、内閣府への電子申請と立入検査を控えているので専務理事が不在になることがないよう、万が一の場合を考えて候補者を選定しておいて欲しいとの説明があった。

以上をもってすべての審議を終了した。

### 5) 閉会





13 時 36 分 森会長が閉会を宣言し終了した。

以上

平成 29 年 5 月 23 日

上記議事録を明確にする為、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名押印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会  
第 36 回臨時理事会

役職	署名	捺印
議長 (代表理事 森健輔)	森 健輔	
監事 (尾澤輝行)	尾澤輝行	
監事 (間瀬勝一)	間瀬勝一	
議事録作成署名人 (西奈美博副会長)	西奈美 博	
出席理事 大志万公博副会長	大志万 公博	
小柳 聡副会長	小柳 聡	
佐藤壽晃専務理事	佐藤 寿晃	
小川幹雄執行理事	小川 幹雄	
山田芳久執行理事	山田 芳久	
崎山征雄執行理事	崎山 征雄	
阿部茂樹	阿部 茂樹	
伊東正示	伊東 正示	
伊東(市来)邦比古	伊東 邦比古	
河瀬 靖憲	河瀬 靖憲	
鈴木 伸一	鈴木 伸一	
西村岩夫	西村 岩夫	
長谷川祥久	長谷川 祥久	

第 3 7 回 定例理事会

議 事 録【正】

平成 2 9 年 9 月 1 日

公益財団法人 劇場演出空間技術協会

公益財団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

## 第37回 定例理事会 議事録 (正)

日 時：平成29年9月1日 (金) 14:00～17:15

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：森健輔会長、小柳聡副会長 (総務担当)、  
西奈美博副会長 (事業担当)  
大志万公博副会長 (財務担当、広報担当)、  
小川幹雄 (国際渉外担当)、  
山田芳久 (業務担当、規程改訂作業部会)、  
河瀬靖憲、鈴木伸一、西村岩夫、伊東(市来)邦比古

欠席理事：佐藤壽晃専務理事 (事務局・国内渉外担当)、  
崎山征雄 (コンプライアンス担当)、  
伊東正示、長谷川祥久、阿部茂樹

出席監事：尾澤輝行、間瀬勝一

欠席顧問：高田一郎

事務局：中川堅司 (事務局長)

有効理事総数 15名、出席理事 10名、欠席理事 5名

出席率 67% 監事2名、事務局1名、計13名

議事録署名人 (書記) 鈴木 伸一

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 15名中、10名の出席、監事2名、事務局1名にて本理事会  
は定足数の過半数を確保し成立した。

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

1)業務報告	森健輔会長	
2)事業報告	西奈美博副会長	資料-閲覧資料
3)総務報告	小柳聡副会長	資料-閲覧資料
4)財務報告、広報活動報告	大志万公博副会長	資料-財務報告
5)規程改訂作業部会報告	山田芳久理事	
6)コンプライアンス報告	崎山征雄理事欠席のため報告なし	
7)国際協力報告	小川幹雄理事	
8)事務局報告	中川堅司事務局長	
9)その他		

#### 4. 審議事項

第1号議案	正会員 A 森平舞台機構（株）伊藤淑恵氏 建築部会入部について	(資料-2)
第2号議案	富士工業（株） 賛助会員 A 入会について	(資料-3)
	閲覧資料-富士工業（株）会社概要	
第3号議案	富士工業（株）原 孝博氏 機構部会入部について 中川事務局長	(資料-4)
第4号議案	正会員 A 東芝エルティールエンジニアリング（株）黒田 武氏 教育研修部会入部について	(資料-5)
第5号議案	正会員 A 東芝エルティールエンジニアリング（株）大河原 隆夫氏 教育研修部会退部について	(資料-6)
第6号議案	賛助会員 A（株）オーディオブレインズ 藤井 修三氏 音響部会退部について	(資料-7)
第7号議案	事業統一準備作業部会の構成員と作業部会長の選任について	(資料-8)
第8号議案	札幌セミナーについて	
第9号議案	三精工事サービス（株） 会員種変更について	(資料-9)
第10号議案	JATET 誌の持続的な発行についての課題について	(資料-10)
第11号議案	JATET リーフレットについて	(資料-11)
第12号議案	JATET 劇場演出空間技術展 2018 のチラシ・ポスターデザインについて	(資料-12)
第13号議案	KTL への返礼及び KTL セミナー出席について	(資料-13)
第14号議案	テレビ東京見学会開催について	(資料-14)
第15号議案	平成29年度財務運用方針について	(資料-15)
第16号議案	「吊物バトン積載荷重表示指針」改訂について	(資料-16)
第17号議案	正会員 C 福島 洋志氏 退会について	(資料-17)
第18号議案	賛助会員 B 高久勝彦氏 退会について	(資料-18)
第19号議案	賛助会員 A ヒビノ（株）内藤 学氏 音響部会退部について	(資料-19)

第 20 号議案 LED NEXT STAGE2018 協賛名義使用について

(資料-20)

第 21 号議案 JATET 専務理事選任について

5. その他

1) 第 38 回定例理事会開催日程について

2) 閉会

## 議事次第

### 1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

### 2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人の選出。出席理事の中から議長が鈴木伸一氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

## 議事

### 3. 報告事項

#### 1) 業務報告 森健輔会長

下記の通り、第 35 回定例理事会以降の業務報告がされた。

平成 29 年 5 月 12 日（金） 14:30～	第 12 回事業執行連絡委員会
平成 29 年 6 月 13 日（火） 14:30～	第 13 回事業執行連絡委員会
平成 29 年 7 月 12 日（水） 14:00～	第 14 回事業執行連絡委員会
平成 29 年 8 月 7 日（月） 14:00～	第 15 回事業執行連絡委員会

#### 2) 事業報告 西奈美博副会長（閲覧-事業報告）

##### 各部会報告

##### ・教育研修部会

蓮田総合文化会館の特集は JATET ジャーナル Vol.13 で発行した。建築学会主催の東広島芸術文化ホール見学会を後援、8 月 30 日に実施した。

##### ・照明部会

演出照明設備の LED 化に関するアンケートを JATET 誌 81 号に同封した。規格の英文化については部会としては出さないことにしたが、海外メーカーに向けて広報は検討したい。C 型コンセントから並行ケーブルへの変換ケーブルについて、Q&A を JATET HP に掲載した。JATET 安全手帳についてたたき台を作成、技術展セミナーで解説する予定。カラーLED のポリカラーの色の作り方について、ポリカラーデータをメーカーに作ってもらい、データーを開示してもらえよう検討している。

##### ・建築部会

来年の技術展のセミナーに向け、「改修をやり続けている劇場」、「大規模改修を実施した劇場」、「安全に特化した劇場」等約 10 の事例を挙げてヒヤリングを実施していく予定。東京都市大学の勝又先生の方でのアンケート発送と回収を予定している。

##### ・機構部会

吊物機構安全指針内のワイヤロープの安全率に関する質問があり、回答後に JATET HP に掲載した。吊物バトン積載表示指針の改訂についてこの後に審議いただく予定。「舞台機構で使用される用語と操作釦等の配置」見直しも検討を進めている。

##### ・音響部会

「劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」について解説書の取りまとめ



を年度内完成に向け進めている。現在稲生音響部会長が病氣療養中であり、西村音響副部会長を部会長交代で選任した。

・映像部会

デジタル映像の遅延に関して、指揮者モニターの検証を新国立劇場と京都ロームシアターと共同して行い、技術展のセミナーで成果の発表を行う予定。

・広報部会

JATET 誌 81 号の編集作業を担当し発行した。JATET リーフレットについては、この後に審議いただく予定。

イ. JATET 劇場演出空間技術展 2018 開催について

資料-1

展示部門 2018 年 1 月 22 日 (仕込み)、23 日～25 日 於：スペース・ゼロ

セミナー 2018 年 1 月 25 日 (午後から音響、映像)、26 日 (照明、機構、建築) 於：座・高円寺 2

レイアウトは、標準小間が 3 2 ブース、小型小間が 8 ブースの計 40 ブース。9 月 1 日現在出展申込済みは 18 社 17 小間 (1 社で 2 コマ申込あり) の状況。前回ギャラリースペースで利用した場所を今回はイベントスペースとして利用案内を出している。

展示部門参加受付は 9 月 22 日まで受け付けている。

技術展全体テーマ：「演出空間における舞台技術の現状と展望」。今後もこれを固定のテーマとし、毎回サブテーマを決めることとする。

セミナーテーマは

建築部会 「劇場・ホールの改修プロジェクトに関する事例調査報告」

機構部会 「繊維ロープについての基礎知識及び扱いについて」

照明部会 「LED 演出照明設備の現状調査」

「劇場における照明作業の安全確保と安全手帳」

音響部会 「オーディオネットワーク時代のノイズ対応」

映像部会 「劇場・ホール等の映像設備デジタル化、ネットワーク化への課題と対応、デジタル映像の遅延」

「デジタルネットワーク伝送システム」

「劇場・ホールからの情報発信の課題と展望」

1 月 24 日に懇親会を新宿のホテルサンルートプラザで開催予定。

今後の予定

9 月 28 日・・・出展者説明会・小間割り抽選会

11 月 15 日 (予定)・・・出展者全体会議

1 月 24 日・・・技術展懇親会

2 月 15 日 (予定)・・・技術展報告会議

ロ. JATET 誌 81 号について

発行済、編集担当・広報部会、記事内容：JATET フォーラム 2016/17 シンポジウム  
広告 24 社、9 月中に請求書発行予定

ハ. JATET 誌 82 号について

技術展 2018 の特集、記事内容：出展企業からの技術書中心

9 月 28 日の展示部門出展説明会で各社に 10 月に各部会長に執筆依頼を予定。

3) 総務報告 小柳聡副会長（資料-閲覧資料）

10 月よりアルバイトの時間給を、東京都最低賃金に合わせ 958 円とする

4) 財務報告、広報活動報告 大志万公博副会長

財務報告

9 月 1 日付けでの会費未納者は、正会員 A 1 社、正会員 C 5 名、賛助会員 A 2 社、  
賛助会員 C 5 名。再請求書を発行済み（9 月末締切）

財産管理運用規程に基づき、今年度の運用方針案を本日の審議事項として後で審議。

広報活動報告

9 月 1 日付で JATET 誌の配布を行うことができた

JATET リーフレットについて検討し、問題点などを審議事項としたので検討ください。

5) 規程改訂作業部会報告 山田芳久理事（資料-規定改定作業部会報告）

リスク管理、コンプライアンス等の規定に関して作業中

6) コンプライアンス報告 崎山征雄理事

崎山理事欠席のため報告なし

7) 国際協力報告 小川幹雄理事（資料-閲覧資料）

5 月に KTL（韓国産業技術試験院）と締結した覚書で誤字がみつき、9 月訪韓の折に差し替える処置を行う

OISTAT の会長が交代、バート・ディターマン氏（オランダ、ロッテルダム劇場 COO）となった

8) 事務局報告 中川堅司事務局長

イ. 内閣府情報 資料-閲覧資料：内閣府情報

内閣府 公益法人メールマガジン臨時号（平成 29 年 5 月 10 日発行）を閲覧

内閣府 公益法人メールマガジン第 22 号（平成 29 年 5 月 17 日発行）を閲覧

内閣府 公益法人メールマガジン第 23 号（平成 29 年 5 月 31 日発行）を閲覧

内閣府 公益法人メールマガジン第 24 号（平成 29 年 6 月 14 日発行）を閲覧

内閣府 公益法人メールマガジン第 25 号（平成 29 年 6 月 28 日発行）を閲覧

内閣府 公益法人メールマガジン第 26 号（平成 29 年 7 月 12 日発行）を閲覧

内閣府 公益法人メールマガジン第 27 号（平成 29 年 7 月 26 日発行）を閲覧

内閣府 公益法人メールマガジン第 28 号（平成 29 年 8 月 9 日発行）を閲覧

内閣府 公益法人メールマガジン第 29 号（平成 29 年 8 月 23 日発行）を閲覧

ロ. 経済産業省情報&総務省 資料-閲覧資料：経済産業省情報  
改正個人情報保護法の全面施行に伴い、個人データ漏洩等の事案が発生した場合の対応について書面を閲覧した。経済産業省の組織変更（商務情報政策局コンテンツ産業課）について案内があった。DNS の運用変更に伴うキャッシュ DNS サーバーの設定更新の必要性について周知依頼がきている。

ハ. JATET ニュース発行について  
181号～185号 配信済、186号（9月初、配信予定）

## 二. 会員情報

JATET 登録代表者、担当者変更：

（株）松村電機製作所、（株）アール・アイ・エー、（株）進栄産業、  
社名変更：

（株）JVC ケンウッド・アークス→ヒビノアークス（株）

ポーズ株式会社→ポーズ合同会社

会員住所変更など

入退会、入退部について（審議事項）

ホ. 諸団体情報 資料-閲覧資料：諸団体情報

日本建築学会から東広島芸術文化ホール「くらら」の後援依頼書が届いた。  
劇場等演出空間運用基準協議会から「劇場等演出空間の運用及び安全に関するガイドライン」改訂版発行にあたり、内容についてチェックの要請があり、各部会で確認した。

へ会費納入状況および書籍販売状況 資料-閲覧資料：会費納入状況

ト. 請求書情報 資料-閲覧資料：請求書情報

座・高円寺に、技術展 2018 の会場費を支払った。

チ. HPについて

平成 28 年度事業報告関連資料、平成 29 年度事業計画を掲載した。

リ. 事務局関連

平成 28 年度事業報告書、決算書類を内閣府に提出、6 月 28 日受理された。

理事会での総会開催についての決議は、総会の日程、場所の決議ではなく、「総会そのもの」の開催決議とするように内閣府から指導があった。また、公益目的事業比率について、今年度の見通しについて質問があり、技術展開催により公益事業額が増え改善できる見通しと回答した。

電子公告を行う場合のアドレスの登記を行った。

定款に定められている役員、理事の法人に対する責任の限度についての規定の登記を行った。

JATET 誌の無償配布を各都道府県の舞台、TV 関係の非会員会社に拡大したらどうかと

いう提案が佐藤専務理事からあった。発送先リストを作成中。

(株) テトラロジックスタジオ移転について報告した。

#### 4. 審議事項

- 第1号議案 正会員 A 森平舞台機構 (株) 伊藤淑恵氏 建築部会入部について 中川事務局長(資料-2)  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。
- 第2号議案 富士工業 (株) 賛助会員 A 入会について 中川事務局長(資料-3)  
閲覧資料-富士工業 (株) 会社概要  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。
- 第3号議案 富士工業 (株) 原 孝博氏 機構部会入部について 中川事務局長(資料-4)  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。
- 第4号議案 正会員 A 東芝エルティールエンジニアリング (株) 黒田 武氏 教育研修部会入部について 中川事務局長(資料-5)  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。
- 第5号議案 正会員 A 東芝エルティールエンジニアリング (株) 大河原 隆夫氏 教育研修部会退部について 中川事務局長(資料-6)  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。
- 第6号議案 賛助会員 A (株) オーディオブレインズ 藤井 修三氏 音響部会退部について 中川事務局長(資料-7)  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。
- 第7号議案 事業統一準備作業部会の構成員と作業部会長の選任について 中川事務局長(資料-8)  
2016年9月の第32回臨時理事会において承認された、調査研究(公1)、情報収集(公2)、人材育成(公3)の3つの公益目的事業を統一するための作業部会の構成メンバーについて、業務執行理事とし、作業部会長は専務理事とするという事務局案が中川事務局長から提案され、審議の後、全員一致で可決承認された。
- 第8号議案 札幌セミナーについて 中川事務局長  
来年3月に竣工、10月オープンの予定の札幌文化芸術劇場の開設準備委員でJATET会員の伊藤久幸氏から、この時期に合わせて、JATETセミナーを開催してほしいとの要請があり、北海道全域の公共劇場にJATETの活動を周知し、会員拡大につながることで、同時に施設見学会の可能性もあることから、JATETとして企画検討を進めるために、実行委員会を立ち上げたらどうか、という提案が中川事務局長からなされ、審議の後、全員一致で可決承認された。

第9号議案 三精工事サービス(株) 会員種変更について 中川事務局長(資料-9)  
中川事務局長から説明があり、審議の後、賛助会員Aから正会員Aへの会員種変更が全員一致で可決承認された。

第10号議案 JATET誌の持続的な発行についての課題について(広報部会)  
大志万副会長(資料-10)

大志万副会長(広報担当)から以下のような報告、提案があり、審議の後、提案が全員一致で可決承認された。

広報部会が編集作業を担当したJATET誌81号で、レイアウト、フォントなど統一、イラストを用いた表紙など、次号以降の基本的なフォームができた。この形をベースに、年2回(上期9月、下期1月を目処)の発行をしたい。

来年度以降のJATET誌の継続的な発行のために以下のようなルールとしたい。

上期号は、部会持ち回り編集による一般特集、下期号は事務局実行委員会による技術展またはフォーラムの特集とする。持ち回りは、照明→音響→映像→機構→建築という輪番体制とする。編集テーマ等は、担当部会と事業執行理事で各年度下期に翌年度の方針案を作成、理事会の承認を得る。発行はJATET、発行内容の責任は広報担当理事、編集作業責任は担当部会。広告料は、200千円(誌面1ページ)とする。

第11号議案 JATETリーフレットについて 大志万副会長(資料-11)

大志万副会長からリーフレットについての以下のような作成方針が示され、審議の結果、方針が全員一致で可決承認された。

1. リーフレットの意義について改めて整理・確認し、その趣旨に即した内容になっているかを再確認する。

<リーフレットの意義>

- 1) JATETの紹介と活動内容を簡潔にわかり易く伝える。
- 2) 会員の新規加入を促進する。

配布する対象を、一般の人を含め非会員とするが、加入促進に当たっては、特に下記のような会員増強が課題

- ・ JATETの中核事業を主体的に担えることのできる会員
- ・ 財政的・組織的サポート可能な会員
- ・ 従来の劇場演出空間に関連する業界以外からの新規参入会員

2. 本日の審議にて修正・再検討すべき点があれば意見を頂き、再修正については、事業執行理事と広報部会長に一任願いたい。

3. その他

体裁は、A3版4つ折り観音開き

リーフレット作成の中で、広報活動の対象として今後の会員構成をどのように考えるか？JATET マークの将来についてどのように考えるか？など今後、検討すべき点が明らかになった。

第12号議案 JATET 劇場演出空間技術展 2018 のチラシ・ポスターデザインについて  
西奈美副会長（資料-12）

西奈美副会長の以下の説明の後、審議に入り、全員一致で可決承認された。ただし、ポスタータイトルの「JATET（改行）劇場演出（改行）空間技術展（改行）2018」の表記は劇場演出・空間技術展と解釈されそうなので、劇場演出空間・技術展と見えるようタイトル表記を修正する。

JATET 劇場演出空間技術展 2018 の実行委員会でチラシ、ポスターのデザインの案を絞り込んだ。イメージは「光と音と空間が奏でるリズム」。

第13号議案 KTL への返礼について  
小川理事（資料-13）

小川理事から調印式で KTL から記念品を頂いたので、返礼品を贈りたいとの要望があった。品物は小川理事に一任いただきたいとの説明があり、大志万副会長より価格帯は5万円から10万円として小川理事に一任するとの提案があり、全員一致で可決承認された。

また、小川理事から KTL からセミナーの招待がきている（旅費・宿泊費 KTL 持ち）ので出席したいとの申し出があり、全員一致で可決承認された。

第14号議案 テレビ東京見学会開催について  
西奈美副会長（資料-14）

西奈美副会長から資料について、中川事務局長から詳細について説明があり、審議の後、全員一致で開催が可決承認された。

今週8月29日に、木村文一教育研修部会長、木村朋和副部会長と共に、テレビ東京・BS ジャパン本社を訪問し、見学について打合せを行った。新社屋スタジオは昨年オープンした施設で、パナソニック ES エンジニアリングと東芝エルティエーエンジニアリングが照明設備の施工を担当。映像、音響などを含めたスタジオ全体の設備や、建築内装についての見学を要望している。11月末～12月中旬頃、最大60名以内になると思われる。

第15号議案 平成29年度財務運用方針について  
大志万副会長（資料-15）

大志万副会長から以下の説明があり、審議の後、全員一致で可決承認された。

今年4月の理事会で承認された財産管理運用規程に基づき、本来は来年度からの実施であるが、本年分も後追いながら作成すべきと考えて、今年度の運用方針（定期預金、普通預金での運用を原則とし、株、債権などによる運用はしない）を作成した。

第16号議案 「吊物バトン積載荷重表示指針」改訂について  
中川事務局長（資料-16）  
中川事務局長から以下の説明があり、審議の後、全員一致で可決承認され

た。

機構部会より、「吊物バトン積載荷重表示指針」の改訂をしたので、内容について審議いただきたいとの要請があった。承認が得られれば、HPで公開する予定である。

第17号議案 正会員C 福島 洋志氏 退会について 中川事務局長(資料-17)  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。

第18号議案 賛助会員B 高久勝彦氏 退会について 中川事務局長(資料-18)  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。  
社内の組織変更に伴い、古賀貴士氏が交代で入会する予定である。

第19号議案 賛助会員A ヒビノ(株)内藤 学氏 音響部会退部について 中川事務局長(資料-19)  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り、全員一致で可決承認された。

第20号議案 LED NEXT STAGE2018 協賛名義使用について 中川事務局長(資料-20)  
中川事務局長から以下の説明があり、審議の後、全員一致で可決承認された。  
特定非営利活動法人LED照明推進協議会と日本経済新聞社からLED NEXT STAGE2018の協賛名義使用許可のお願いが来ている。この展示会は、例年協賛している。

第21号議案 JATET専務理事選任について 中川事務局長  
中川事務局長から以下の説明があり、審議の後、全員一致で可決承認された。

現在、佐藤専務理事は緩和ケア病棟に入院中である。法令上、専務理事はじめ会長、業務執行理事は常駐の制限はないが、理事の職務権限規程では、(業務担当理事)第10条(2)で「専務理事に事故あるとき又は欠けたときは、理事会が予め決定した順序によってその職務を代行する」とされている。このため現在の業務担当理事の中から専務理事の職務代行順序を決めて頂きたい。現在、業務担当理事は崎山理事、山田理事、小川理事の3名なので、3名の専務理事職務代行順序について審議をお願いする。なお、佐藤専務理事は、崎山理事を推薦している。

鈴木理事：佐藤専務理事が職務をできないような状況であれば、職務代行ではなく専務理事を引き継ぐべきではないか？

中川事務局長：専務理事の職務の主なもの、事務局の統括であり、病室で毎日メールをチェックして、電話連絡などで指示を頂いている。いずれにしても来年度には、新しい専務理事を選任することになるので、それまでの間の職務代行を決めておきたい。

今後の内閣府の監査などには、代行が対応することになる。

伊東理事：任期の問題で複雑になるので、次期の専務理事とは切り離して、現在の体制を変えず、今年度いっぱいの任期で代行を決めておくことは賛成である。

小川理事：佐藤理事が推薦しているのであれば、崎山理事がベストではないか？

鈴木理事：崎山理事が現役の社長という多忙な立場を考えると、業界にも海外にも幅広い人脈がある小川理事が望ましいのではないかと考える。

大志万副会長：まず、規定通りに代行の順番を決めることが必要で、1番崎山理事、2番小川理事、3番山田理事ではどうか？

この後、専務理事職務代行の順番を1番崎山理事、2番小川理事、3番山田理事とする大志万副会長の提案が採決にかけられ、全員一致で可決承認された。

## 5. その他

### 1) 第38回、第39回定例理事会開催日程について

第38回は11月28日（火）14時から、第39回は2月23日（金）14時からとする。

### 2) 閉会





17時12分 森会長が閉会を宣言して終了した。



平成 29 年 9 月 1 日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会  
第 37 回定例理事会

役職	署名	捺印
議長 (代表理事 森健輔)	森 健輔	
監事 (尾澤輝行)	尾澤輝行	
監事 (間瀬勝一)	間瀬勝一	
議事録作成署名人 (鈴木伸一)	鈴木伸一	

第 3 8 回 臨時理事会  
議事録（正）

平成 2 9 年 9 月 2 0 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

## 1. 開催日時及び場所

日 時：平成29年9月20日（水） 15:00～15:05

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル TEL：03-5289-8858

## 2. 出席理事数及び出席者氏名

出席理事数： 12名（理事総数 15名）

欠席理事数： 3名

出席理事名：森健輔会長、

西奈美博副会長（事業担当）、

小柳聡副会長（総務担当）、

大志万公博副会長（財務担当、広報担当）、

小川幹雄（国際渉外担当）、山田芳久（業務担当・規程改訂作業部会）、

崎山征雄（コンプライアンス担当）、

阿部茂樹、伊東（市来）邦比古、河瀬靖憲、鈴木伸一、西村岩夫、

欠席理事名：佐藤壽晃、伊東正示、長谷川祥久

出席監事名：尾澤輝行

欠席監事名：間瀬勝一

事務局：中川堅司（事務局長）

オブザーバー：中村剛（尾澤会計事務所）

有効理事総数 15名、出席理事 12名、欠席理事 3名 出席率 80%

出席監事 1名、事務局 1名＋オブザーバー1名、計 15名

議事録署名人（書記）小柳 聡

議事要旨：臨時理事会

定足数確認：有効理事総数 15名中、12名の出席、監事 1名、事務局 1名、オブザーバー1名にて、本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

## 3. 議事次第

1)開会

2)議長選出

3)議事録記録署名人選出

4)議事

（報告事項なし）

（審議事項）

第1号議案

審議事項1) 第1号議案 専務理事 選任について

資料なし

## 4. 議事の経過の概要とその結果

1)開会

定刻 15時00分

定款第43条の規定により事務局長が定数を確認、理事会の成立を確認し、開会を宣言。

2)議長選出

定款第42条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

### 3) 議事録記録署名人選出

定款第 46 条(議事録)の規定に従い議事録作成署名人の選出。  
議長が副会長より小柳聡副会長を指名し、同氏はこれを受諾した。

### 4) 議事

報告事項なし

#### 審議事項

##### 第 1 号議案 専務理事 選任について

森会長より、理事の職務権限規程の中で、業務担当理事は「専務理事に事故あるとき又は欠けたときは、理事会が予め決定した順序によってその職務を代行する」とある。

9 月 1 日の第 37 回定例理事会で、現在の業務担当理事の中から専務理事の職務代行順序を審議し、結果として、崎山理事、小川理事、山田理事の順序とすることが決議された。

第 37 回定例理事会終了後、事務局から崎山理事に電話連絡を取り、決議された内容を報告して、専務理事の職務として非常勤での事務局統括管理を代行いただくようお願いした。

9 月 11 日に、佐藤専務理事が 9 月 10 日の夜に逝去されたと、ご家族から連絡を受け、事務局として今後の対応について、内閣府と連絡を取った。

内閣府からは、専務理事が死亡されたことの登記が必要であり、登記簿を添付して報告すること、今の理事の中から、理事会にて新しい専務理事の選任を行い、2 週間以内、できるだけ速やかに、変更届を提出することが求められている。

死亡登記については、司法書士事務所に連絡し、ご家族からの死亡届と委任状を用意して、登記の手続きを進めている。

前回の理事会での、専務理事の職務代行順序についての決議内容を報告したが、佐藤専務理事逝去に伴い、新専務理事の選任についての審議をお願いしたいとの説明があった。また、来年の総会で役員の変更が行われるので、新専務理事の任期は、来年の通常総会までとなることも説明された。

第 1 号議案 専務理事 選任について審議に入り、全員一致で崎山理事に専務理事をお願いすることとなり本件は可決承認された。

非常勤でコンプライアンス担当理事と兼務となる。

以上をもってすべての審議を終了した。

### 5) 閉会




15 時 05 分 森会長が閉会を宣言し終了した。

以上

平成 29 年 9 月 20 日

上記議事録を明確にする為、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名押印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会  
第 38 回臨時理事会

役職	署名	捺印
議長 (代表理事 森健輔)	森 健輔	
監事 (尾澤輝行)	尾澤輝行	
監事 (間瀬勝一)	欠席	印
議事録作成署名人 (小柳 聡)	小柳 聡	

第39回 定例理事会

議 事 録【正】

平成29年11月28日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

## 第39回 定例理事会 議事録 (正)

日 時：平成29年11月28日 (火) 14:00～15:50

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：森健輔会長、西奈美博副会長 (事業担当)、  
小柳聡副会長 (総務担当)、  
小川幹雄 (国際渉外担当)、  
山田芳久 (業務担当、規程改訂作業部会)、  
伊東(市来)邦比古、河瀬靖憲、鈴木伸一、長谷川祥久、西村岩夫

欠席理事：大志万公博副会長 (財務担当、広報担当)、  
崎山征雄 (専務理事、国内渉外担当、コンプライアンス担当)、  
阿部茂樹、伊東正示

出席監事：尾澤輝行

欠席監事：間瀬勝一

欠席顧問：高田一郎

事務局：中川堅司 (事務局長)

オブザーバー：中村剛

有効理事総数 14名、出席理事 10名、欠席理事 4名

出席率 71% 監事1名、事務局1名、オブザーバー1名、計13名

議事録署名人 (書記)

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 14名中、10名の出席、監事1名、事務局1名、オブザーバー1名にて本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

議事次第

1. 議長選出

2. 議事録記録署名人選出

議事

### 3. 報告事項

- |                |          |         |
|----------------|----------|---------|
| 1) 業務報告        | 森健輔会長    |         |
| 2) 事業報告        | 西奈美博副会長  | 資料-1    |
| 3) 総務報告        | 小柳聡副会長   |         |
| 4) 財務報告、広報活動報告 | 大志万公博副会長 |         |
| 5) 規程改訂作業部会報告  | 山田芳久理事   |         |
| 6) コンプライアンス報告  | 崎山征雄理事   |         |
| 7) 国際協力報告      | 小川幹雄理事   | 資料-国際渉外 |
| 8) 事務局報告       | 中川堅司事務局長 |         |
| 9) その他         |          |         |

### 4. 審議事項

- |        |                                  |          |
|--------|----------------------------------|----------|
| 第1号議案  | 正会員A パナソニック(株)エコソリューションズ社 高橋 邦男氏 |          |
|        | 照明部会退部の件                         | 資料-2     |
| 第2号議案  | 正会員A パナソニック(株)エコソリューションズ社 役野 善道氏 |          |
|        | 照明部会入部の件                         | 資料-3     |
| 第3号議案  | 賛助会員A ボーズ合同会社 林 智之氏              | 音響部会退部の件 |
|        |                                  | 資料-4     |
| 第4号議案  | 賛助会員B 西 豊彦氏                      | 会員種変更の件  |
|        |                                  | 資料-5     |
| 第5号議案  | 選挙管理委員会委員選出について                  | 資料-6     |
| 第6号議案  | 平成30年度総会開催及び総会日時場所の決定について        | 資料なし     |
| 第7号議案  | 札幌セミナーについて                       | 資料なし     |
| 第8号議案  | JATET 誌 83号について                  | 資料なし     |
| 第9号議案  | (仮) JATET 劇場演出空間技術展 2020 日程について  | 資料なし     |
| 第10号議案 | 千葉県公立文化施設協議会 講師依頼について            | 資料-7     |
| 第11号議案 | 平井 哲史氏 正会員C入会について                | 資料-8     |
| 第12号議案 | 国際劇場産業展 (THEATEX) 後援名義の承認について    | 資料-9     |
| 第13号議案 | 公共劇場舞台技術者連絡会技術研修会 講師依頼について       | 資料-10    |
| 第14号議案 | 賛助会員A コトブキシーティング(株) 佐藤 勇樹氏       |          |
|        | 建築部会退部について                       | 資料-11    |
| 第15号議案 | 正会員B (株)安井建築設計事務所 山内 清史氏         |          |
|        | 建築部会退部について                       | 資料-12    |
| 第16号議案 | 正会員A (株)橋田舞台設備 川添 基将氏            |          |
|        | 機構部会退部について                       | 資料-13    |
| 第17号議案 | MoU 誤記訂正覚書書類について                 | 資料なし     |

### 5. その他

- 1) 第41回定例理事会開催日程について



## 1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

## 2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人の選出。出席理事の中から議長が西村岩夫氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

## 3. 報告事項

### 1) 業務報告

森健輔会長（資料-議事録）

下記の通り、第 37 回定例理事会以降の業務報告がされた。

平成 29 年 9 月 14 日（木）14:00～	第 16 回事業執行連絡委員会
平成 29 年 10 月 13 日（金）11:00～	第 17 回事業執行連絡委員会
平成 29 年 11 月 14 日（火）14:00～	第 18 回事業執行連絡委員会

### 2) 事業報告

西奈美博副会長（閲覧-事業報告）

各部会の活動報告詳細については議事録資料を参照。

教育研修部会では 12/25 にテレビ東京・BS ジャパン新本社スタジオ見学会を開催予定。申し込み状況は現状のところ 46 名となっている。後援した日本建築学会主催の東広島芸術文化ホール「くらら」見学会を JATET ジャーナルとして発行することを検討している。久留米シティプラザ見学会については、年度内に開催して欲しいとの要望があり、その予定で開催を再検討している。その他見学会予定としては、日本青年館、秩父宮記念市民会館、鶴岡市文化会館も候補として検討している。このうち日本青年館からは、次年度であれば見学可能との回答を得ている。

建築部会では JATET 技術展セミナーの流れと内容について検討した。客席天井改修に関する改修事例紹介としてサントリーホールと武蔵野市文化会館で検討を進めている。特定客席天井のセミナーは建築向けの専門的なセミナーは他でも行っているが、今回は劇場従事者に向けた解りやすいセミナーを目指している。また、劇場の客席椅子、バリアフリーへの対応について国土交通省が発行している「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」の紹介と欧米などの柔軟な対応事例を紹介し、日本での取り組み意識を高めていくセミナーとする。

機構部会では前回の理事会で指摘があった「JATET-M-6020-1 吊物バトン積載量表示指針」表紙の「Technology」の綴りは修正済み。「JATET-M-6030-3 吊物機構安全指針・同解説」について、記載間違いがあり正誤表を作成し、JATET ニュースで連絡すると共にホームページにも公開した。既に購入された方には、メールで正誤表と背表紙修正紙も送付した。技術展ではセミナー冒頭で訂正内容の説明をする予定。また、今後の販売については正誤表を添付し送付していく。「JATET-M-6020-1 吊物バトン積載量表示指針」については、ホームページに改訂版を公開した。「舞台機構機器

の操作で使用される用語と配置」の指針見直しについては、年度内公開を目標に作業を進めている。

照明部会では LED 演出照明設備調査研究会が行っている「劇場・ホールの演出照明設備 LED 化に関するアンケート」の集計結果を技術展セミナーの研究発表へと繋げていく予定。安全手帳については、初級者にも使用してもらえそうな内容とし、各メーカーの取扱説明書に記載されている安全のための注意を安全規格としてまとめていく予定。カラーLED 照明器具の表示規格については規格発行に向けて作業を進めている。

音響部会ではオーディオネットワーク伝送で使用されるネットワークスイッチやイーサネットケーブルによる不具合の研究成果を来年 1 月に開催される技術展セミナーで発表する予定。「JATET-S-6010: 2016 劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法同解説書」は、年度内発行に向け作業を進めている。

映像部会では技術展セミナーに向けてデジタル映像の遅延、デジタルネットワーク伝送システム、劇場・ホールからの情報発信（パブリックビューイング）の課題と要望について検討を進めており、11 月 24 日にロームシアター京都の土肥氏を講師として招きヒアリングを行った。

広報部会では JATET リーフレットを発行した。また、11 月 15 日～17 日に開催された Inter BEE 2017 に参加する会員企業に同リーフレットを送付し、会場で配布して頂いた。今後の活動としては JATET 誌 82 号と JATET リーフレットを同封して公共施設に送付する予定。

#### イ. JATET 劇場演出空間技術展 2018 開催について

資料-1

下記の通り、第 37 回定例理事会以降の業務報告がされた。

平成 29 年 9 月 25 日（月）10:00～	第 7 回技術展実行委員会
平成 29 年 9 月 28 日（木）14:00～	出展説明会および小間割り抽選会
平成 29 年 10 月 31 日（火）15:00～	第 8 回技術展実行委員会
平成 29 年 11 月 22 日（水）14:00～	JATET 劇場演出空間技術展 2018 全体会議（展示部門）

技術展 2018 の総責任者と展示会場の責任者を西奈美副会長、セミナー会場の責任者を大志万副会長とし会場受付などの役割分担を決定した。

セミナーでは前回まで当日準備スタッフでもセミナー代を頂いていたが、今回はスタッフとして登録を行い、受講者とスタッフを明確化したうえでスタッフからは、代金を頂かない方向で運営していく予定。

展示では抽選会のあと 2 社からの申込があり、現在標準ブース 25、小型ブース 1 の申込となっている。現状の申込状況では、収支が 200 万円ほど赤字の見込みである。収支ゼロに近づけるため小間の削減と個別搬入することで諸経費の見直しを行った。残り標準小間 3 ブース、小型小間 3 ブースの出展への声かけをお願い

いたい。イベントスペースについては、展示3日間で8枠計画しているが現在1枠のみの申込で出展者に引き続き声かけをお願いしたい。

懇親会では、協力、共催、後援団体、技術展展示会社より各1名招待する予定で進めている。前回は25周年記念ということで歴代会長、副会長を招待したが、今回は招待しない事とする。懇親会参加費は9,720円で技術展中日の1月24日18:30からサンルート新宿にて開催予定。理事の皆さまにもぜひご参加頂きたい。セミナーでは、今月よりJATETホームページで申込受付を開始しており、懇親会もセミナー同様JATETホームページにて申込受付中。懇親会についても同様に声かけをお願いしたい。

#### ロ. 札幌セミナーについて

9月13日に(公財)札幌市芸術文化財団市民交流プラザ開設準備室の伊藤久幸氏が来所されて、札幌でのJATETフォーラムについて、来年の9月5日(水)～7(金)の期間で開催して欲しいとの提案があった。こちらについては後ほど審議願います。

#### ハ. JATET誌82号について

今号は技術展の特集号となり、技術展開催に合わせ来年1月22日の納品、年内12月19日の入稿を目標に作業を進めている。

### 3) 総務報告

小柳聡副会長

総務関係では、東京都最低賃金が時間額958円に改正されたので、10月分からアルバイトの賃金を958円に改定した。

専務理事の交代について第38回臨時理事会において可決承認され、後任として崎山征雄理事(不二装備工業株式会社)が着任したことを10月2日発行のJATETニュース第187号でお知らせした。

専務理事交代に伴い、9月20日付で役員変更届を内閣府に提出し受理された。

柳澤貴彦+TAK建築研究所の柳澤貴彦先生がお亡くなりになり、10月20日のお別れの会に会長名で生花をお届けした。

### 4) 財務報告、広報活動報告

大志万公博副会長

本日、財務・広報担当理事の大志万公博副会長が欠席のため中川事務局長が財務報告及び広報活動報告を行う。

会費の納入状況は、三精工事サービス(株)が賛助会員Aから正会員Aに会員種の変更が承認されたので、差額請求を行い入金があったことを確認済み。会費未納入者は正会員Cが3名、賛助会員Bが2名で11月末の締め切りで再請求書を発行している。11月末時点で入金を確認できない場合は、再々請求書を発行する予定。会費未納者賛助会員Bの内1名は、2年分滞納となるため入金が確認できない場合は、来年2月の理事会で会員資格喪失について審議することになる。

広報活動報告については、先程、西奈美副会長から広報部会の活動報告で JATET 誌 82 号とリーフレットについての報告があったので省略する。

- 5) 規程改訂作業部会報告 山田芳久理事 (資料-規定改定作業部会報告)  
改定案が完成していない残り 2～3 規定については、年内をめどに改訂作業を進めていき、年度内の理事会承認を目指している。

- 6) コンプライアンス報告 崎山征雄理事  
本日、コンプライアンス担当の崎山理事が欠席のため中川事務局長が報告。  
前回理事会以降コンプライアンスに抵触するような問題は起きていない。

- 7) 国際協力報告 小川幹雄理事 (資料-国際渉外)  
KTL の 9 月 26～27 日のセミナーに招待参加し、覚書の英文で誤記記述を訂正した差し替えを持参したが、リー委員長から直接サインを頂くタイミングがとれず、後日サインをしたので郵送するとの返事があり、今回の理事会までには届く予定であった。しかし、11 月になっても届かないので問い合わせしたところ、郵送したが途中で事故があり JATET には届かなかったとのこと。スペア一部預けておいたのだが、KTL 側で保持している覚書書類で、リー委員長の署名が左にあり、森会長の署名が右側にあるものを送るが、それで良いかとの問い合わせがあった。本日 11 月 28 日の理事会で協議して返事すると解答してある。ついては本日の審議事項として頂きたい。

また記念品の返礼については、理事会承認の予算は 5 万円～10 万円であったが、2 万 8 千円の樺細工の工芸品が他の物よりも良かった為、それを持参して委員長に直接お渡しし、大いに喜ばれた。

アジア五カ国による討議は、台湾が欠席の 4 機関であった。各団体の呼称は国や地域ではなく、機関名で呼びたいとの提案が中国技術院 (北京) からあり了承された。事務局は当面 KTL に置くこととなり、毎年二回会議を行いたいとの提案もあったが、来年は中国で 8 月に開催されるイベントにて会議を持つこととなった。

また野外イベントの安全についてドイツ、アメリカ、イギリスのレクチャーがあり、安全基準についてアジアではいかに採り入れていくかといった議論があった。シンガポール、中国、韓国の安全基準に関する報告があり、JATET より小川理事が主に基準協の「安全ガイドライン Ver. 3」と舞台安全協会の仮設に関する資料を参考にレクチャーを持った。

#### OISTAT 総会報告

10 月 6 日に総会が開催され、事業・決算報告、計画・予算案が承認された。議事録等については後日提出する。同時に、台湾で開催されたワールド・ステージ・デ

ザイン(WSD)の報告会もあったが、12月27日に日比谷公園図書文化館にて、あらためて詳細報告が開催される。トークショーも併催されるので、希望者はこぞって参加をお願い申し上げる次第。

#### 8) 事務局報告

中川堅司事務局長

本来なら、専務理事である崎山理事からの報告となるが、事務局に常勤されていないこともあるので、中川事務局長より報告する。

#### イ. 内閣府情報

閲覧資料-内閣府情報

内閣府からの情報は、下記閲覧資料のとおり。

公益法人メールマガジン第30号(平成29年9月6日発行)

公益法人メールマガジン第31号(平成29年9月20日発行)

公益法人メールマガジン第32号(平成29年10月4日発行)

公益法人メールマガジン第33号(平成29年10月18日発行)

公益法人メールマガジン第34号(平成29年11月1日発行)

公益法人メールマガジン第35号(平成29年11月15日発行)

#### ロ. 経済産業省情報&総務省

閲覧資料-経済産業省情報

経済産業省、総務省からの情報は、下記閲覧資料のとおり。

平成29年度「自殺予防週間」における取組の要請

平成29年度「自殺予防週間」実施要綱

地方創生ステップアップセミナー開催のお知らせ

海外企業買収における仮題とその克服に向けて

平成29年度経済産業行政担当者研修

(人権教育・啓発に関する研修)の開催について

冬季の省エネルギーの取組について

コンテンツ産業課における後援名義使用等に係る申請について

#### ハ. JATET ニュース発行について

JATET ニュースの発行については、下記のとおり。

第186号(平成29年9月4日配信)

第187号(平成29年10月2日配信)

第188号(平成29年10月31日配信)

第189号(平成29年11月15日配信)

10月以降の配信概要としては、JATET 技術展の予備小間募集、専務理事交代、各種指針関連の連絡、基準協「劇場等演出空間の運用及び安全に関するガイドライン」の案内、技術展セミナー、懇親会の申し込みに関する内容を発信した。

## 二. 会員情報

閲覧資料-会員情報

9月以降の会員情報については、下記のとおり。

正会員 A (株)サンケン・エンジニアリング 住所変更

正会員 A パナソニック(株)エコソリューションズ社 住所変更

正会員 A パナソニック(株)エコソリューションズ社

高橋 邦男氏 照明部会退部 (審議事項)

正会員 A パナソニック(株)エコソリューションズ社

役野 善道氏 照明部会入部 (審議事項)

正会員 A 三菱重工メカトロシステムズ(株) 社名・代表者変更

正会員 A (株)橋田舞台設備 川添 基将氏 機構部会退部 (審議事項)

正会員 B (株)安井建築設計事務所 山内 清史氏 建築部会退部 (審議事項)

正会員 C 佐藤 壽晃氏 死亡届

賛助会員 A ボーズ合同会社 代表者、担当者、住所変更

賛助会員 A ボーズ合同会社 林 智之氏 音響部会退部 (審議事項)

賛助会員 A コトブキシーティング(株) 代表者、担当者変更

賛助会員 A コトブキシーティング(株)

佐藤 勇樹氏 建築部会退部 (審議事項)

賛助特別 (公財) 山口市文化振興財団 代表者変更

賛助特別 全労済ホール/スペース・ゼロ 代表者、担当者変更

賛助会員 B 吉村 道彦氏 住所変更

賛助会員 B 西 豊彦氏 正会員 C に会員種変更 (審議事項)

賛助会員 B 渡辺 恵治孫氏 住所変更

賛助会員 B 奥畑 康夫氏 所属会社役職変更

平井 哲史氏 正会員 C 入会について (審議事項)

## ホ. 諸団体情報

閲覧資料-諸団体情報

各緒団体からの情報は、下記のとおり。

各緒団体からのメールニュース (芸団協、全国公文協)

各緒団体の雑誌関係 (公益法人、他)

各緒団体からのセミナー案内 (公益法人協会、全国公文協、他)

日生劇場 第24回舞台フォーラム 2017 後援名義使用許可について

第23回「ニッセイ・バックステージ賞」受賞者決定のお知らせ

基準協発行の「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン」

## へ. 会費納入状況および書籍販売状況

閲覧資料-会費納入状況&書籍販売状況

会費の納入状況は、先程報告したとおり。

今年度 4 月から 10 月末までの書籍販売状況は、  
吊物機構安全指針・同解説：一般 8 部、会員 33 部  
床機構安全指針・同解説：一般 1 部、会員 8 部  
劇場等演出空間用照明設備更新のためのガイドライン：一般 2 部  
演出照明用 LED 照明器具の銘板類の表示規格：会員 1 部  
劇場演出における音響効果測定について：一般 5 部  
移動及び持込音響機器における音響電源設備の安全基準：一般 1 部  
Pro Audio Acoustics Technical CD：一般 7 部、会員 2 部  
劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法：一般 8 部、会員 1 部  
という状況で合計 318,600 円の売上となっている。

ト. 請求書情報 閲覧資料-請求書情報  
請求書関連の情報は、回覧資料のとおりである。

チ. ホームページについて  
適宜更新しており、最近では理事会で承認済みの協会規程 7 規程を公開した。

リ. 事務局関連 閲覧資料-事務局関連  
佐藤壽晃専務理事の死亡登記を行った後、専務理事交代に伴う変更届を内閣府に提出し受理された。

JATET 誌の無償配布について各都道府県の舞台、TV 関係の非会員にも拡大してはどうかとの提案を受け、照明、音響部会に協力頂き約 90 社の企業へ JATET 誌 81 号を追加発送した。

JATET 誌 79&80 号の在庫について、3,200 部印刷して余った 200 部を事務局で保管している。今後、印刷部数について多くの余りが出ないように検討する必要がある。

#### 4. 審議事項

本日、小川理事が業務の都合により審議途中で退席するので、第 17 号議案から審議する事とした。

第 17 号議案 MoU 誤記訂正覚書書類について 資料なし  
MoU 誤記覚書書類に関しては、新たに誤記訂正書類を 2 部再作成し、森会長にサインを頂いたあと、KTL に送付してリー委員長サインを頂き返信頂くことにする方向で良いか小川理事から説明があった。  
その後、審議に入り全員一致で可決承認された。

第 1 号議案 正会員A パナソニック(株)エコソリューションズ社

高橋 邦男氏 照明部会退部の件 資料-2  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第2号議案 正会員A パナソニック(株)エコソリューションズ社  
役野 善道氏 照明部会入部の件 資料-3  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第3号議案 賛助会員A ボーズ合同会社  
林 智之氏 音響部会退部の件 資料-4  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第4号議案 賛助会員B 西 豊彦氏 会員種変更の件 資料-5  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第5号議案 選挙管理委員会委員選出について 資料-6

役員選任規程では、選挙管理委員会について次のように規定している。  
第9条 役員選挙に際しては、選挙管理委員会を設置する。

- 2 選挙管理委員の人選は、理事会が行う。
- 3 選挙管理委員として、理事及び監事の選挙に立候補しない正会員の中から5名を選出し、選挙管理委員会を構成する。
- 4 選挙管理委員会は、過半数の選挙管理委員の出席により成立する。
- 5 選挙管理委員会は、本規程にもとづき、立候補届用紙、立候補者名簿、投票用紙などの作成、投票及び開票などの業務を統括し、選挙結果を総会で報告する。選挙に関わる疑義を解釈した場合は、総会場で報告するとともに、本会の広報により会員に周知する。
- 6 選挙管理委員会は、過半数の選挙管理委員立会いのもとで厳正に開票しなければならない。
- 7 選挙管理委員会は、開票事務に支障のないと判断した場合は、開票に際し正会員の任意の立会いを認めることができる。
- 8 選挙管理委員会の事務は事務局が担当する。

この規程に則り、資料-6にあるとおり

正会員 A (株)進栄産業 池田 健氏  
正会員 A 三精工事サービス(株) 畑中 裕介氏  
正会員 B (株)石本建築事務所 南 知之氏  
正会員 C (有)桂川研究室 桂川 潤次郎氏  
正会員 C アールエムトラスト(株) 青池 佳子氏

以上5名を推薦すると中川事務局長から説明があった。



その後、選挙管理委員選出の審議が行われた。

正会員 A (株)進栄産業 池田 健氏の選挙管理委員選出について審議に入り全員一致で可決承認された。

正会員 A 三精工事サービス(株) 畑中 裕介氏の選挙管理委員選出について審議に入り全員一致で可決承認された。

正会員 B (株)石本建築事務所 南 知之氏の選挙管理委員選出について審議に入り全員一致で可決承認された。

正会員 C (有)桂川研究室 桂川 潤次郎氏の選挙管理委員選出について審議に入り全員一致で可決承認された。

正会員 C アールエムトラスト(株) 青池 佳子氏の選挙管理委員選出について審議に入り全員一致で可決承認された。

第 6 号議案 平成 30 年度総会開催及び総会日時場所の決定について 資料なし  
定款第 16 条の定めにより、通常社員総会は、毎年 1 回毎事業年度終了後 3 箇月以内に開催する。また、定款第 16 条と同内容が、社員総会運営規則第 3 条（開催）に定められている。  
本年度の内閣府への事業報告の中で、議事録の総会開催に関わる記述内容について、内閣府からは総会の「開催」そのものを決議したという記述で報告すること。また、総会を招集することを決議した後に、総会の日時及び場所、社員総会の目的である事項、その他の法で定められた事項を定めなければならないとの指導を受けている。  
上記の説明が中川事務局長からあったあと平成 30 年度の総会開催についての審議に入り全員一致で可決承認された。

次年度の総会開催が決定したので、続いて総会開催日時場所の審議に入るが、総会開催場所は、例年どおりホテルローズガーデン新宿を予定している。また、開催候補日は平成 30 年 5 月 22 日（火）、5 月 23 日（水）、5 月 24 日（木）いずれかの日の 14 時から開催予定している。

上記の事務局案が中川事務局長からなされ、審議に入り平成 30 年度の総会開催場所、日時は下記のとおり可決承認された。

開催場所：ホテルローズガーデン新宿

開催日時：平成 30 年 5 月 24 日（木）14 時から

第 7 号議案 札幌セミナーについて 資料なし  
第 37 回定例理事会にて可決承認された札幌市民交流プラザでの JATET フォーラム開催について、9 月 13 日に（公財）札幌市芸術文化財団・市民交流プラザ開設準備室の伊藤久幸氏が JATET 事務局に来所され、札幌

セミナーについて施設の一般向け情報パンフレットと共にセミナーの趣旨を説明いただき打ち合わせした。日程については、施設のオープンが平成 30 年 10 月 7 日なので、その前に JATET フォーラムを開催して欲しいとの要望があった。

具体的な候補日としては、平成 30 年 9 月 5 日（水）～9 月 7 日（金）で提案があった。

上記の説明が中川事務局長からなされ、審議に入り全員一致で可決承認された。

第 8 号議案 JATET 誌 83 号について 資料なし  
広報担当の大志万副会長が欠席のため、中川事務局長より第 8 号議案について説明。

JATET 誌 83 号については、照明部会を編集担当として、来年度の発行予定である。当初の予定では、この 11 月の理事会においてテーマ、スケジュール、予算についての概要を審議することになっていたが、編集担当の加藤照明部会長から大志万副会長に連絡があり、テーマに関する部会打ち合わせにもう少し時間が必要なので、2 月の理事会で付議させて欲しいとの要請があった。従って、本件は、来年 2 月の理事会で審議させて頂きたい。

上記の説明が中川事務局長からなされ、審議に入り全員一致で可決承認された。

審議の後、森会長より第 8 号議案については、次回 2 月の理事会審議とするが、2 月には次年度の事業予算の審議もあるので、今後、12 月から 1 月の事業執行連絡委員会の場も活用して、事前の意見交換を進めるようにとの指示があった。

第 9 号議案 (仮) JATET 劇場演出空間技術展 2020 日程について 資料なし  
先日 11 月 2 日に、西奈美実行委員長と中川事務局長が、新国立劇場を訪問し、畑中総務部長、濱技術部長と「(仮) JATET 劇場演出空間技術展 2020」の打合せを行った。JATET 技術展は例年 1 月に開催されているが、当劇場の繁忙期であるため避けてほしいとの要望があった。また、劇場では毎年 8 月に保守点検を行っているため、その前後であれば可能との事であった。具体的な候補日として保守点検完了翌日の 2019 年 8 月 29 日（仕込み）、30 日、31 日（本番）で開催する案が提案された。開催場所については、新国立劇場の中劇場ロビーにおいて展示を行い、同中劇場においてセミナーを行う案となった。会場使用料については、公益事業に使用するという条件で、通常使用料の半額に当たる 150 万円（3 日

間)で仮押さえする案となった。

来年の JATET 技術展 2018 においても会場使用料は、座・高円寺とスペース・ゼロ合わせて 170 万円程度掛かるので、若干ではあるが経費削減と同一会場となることで利便性が増すと思われる。

建築部会長からも展示会とセミナーを同一会場で実施することを検討してほしいと要望があったこと、その他の方からも同様の要望があると思われる。

上記の説明が中川事務局長からなされ、各理事から下記の質疑がなされた。

伊東理事：この技術展の開催は 2020 年度になるのですか。

中川事務局長：2019 年度となります。

長谷川理事：例年 8 月末の週末には建築学会の大会があるので、建築学会の大会に出席される方は JATET 技術展に出席できない可能性がある。

伊東理事：展示会場として新国立劇場・中劇場のロビーの広さは、スペース・ゼロと比べて同等の広さでしょうか。

森会長：ホワイエだけで見ると狭いと思われる。

中川事務局長：袖舞台や奥舞台も展示として使用すれば同等の広さと思われるが、展示とセミナーの客の動線の問題等あると思われるので、詳細については後日検討が必要。

鈴木理事：今度の展示部門に参加する出展企業が増えてこない状況で、出展企業から話を聞くとブースが狭く機材が並べられないなどの意見があるので、現状より狭くなるとより出展企業が少なくなるのではないかと危惧している。また、展示に関して出展企業側で営業的なメリットをあまり感じていないと思われるので、このまま展示部門を続けていくのが良いのか、JATET として活動を世の中にアピールするのであれば、セミナーの部分だけでも良いと思われるが、そのあたりは如何ですか。

中川事務局長：見本市の開催という表現で定款に謳われているので、公益法人の責務として実施する必要があると思われる。

上記質疑がなされた後に「(仮) JATET 劇場演出空間技術展 2020」開催の審議に入り全員一致で可決承認された。

次に同一会場での開催について、審議に入り全員一致で可決承認された。

次に開催日程 2019 年 8 月 29 日～31 日について、審議に入り賛成 6 名、反対 2 名で、出席理事の過半数の賛成で本件は可決承認された。

反対に挙手された理事は反対理由を述べて下さい。

鈴木理事：長谷川理事からの発言で、建築学会の大会と日程が重なる可能性があるとの話があり建築系の方が参加できないのは、JATET とし

てデメリットとして捉えている。日程変更できるのであれば変更出来ないか、今ここで決めなくても良いと思う。

長谷川理事：先程私が発言した内容は、確定している情報でないのが大変申し訳ないと思います。ただ通例からすると非常に可能性が高いため賛成も反対もしかねるという状況です。日程に関する協議を建築部会に持ち帰るという事は可能でしょうか。

西奈美実行委員長：新国立劇場さんとは、日程についてどこまで待てるかとの会話はしていないのですが、現状仮予約して頂いている段階で既に予約が入ってきている状況だそうです。先程、中川事務局長の説明であったように保守点検の即後なので空いているという事です。従って、建築部会に持ち帰り返答する時間があるか判らない状況です。

審議可決承認後に森会長より日程の変更について、今一度可能性があるか新国立劇場と協議して頂くよう事務局に指示があった。

- 第 10 号議案 千葉県公立文化施設協議会 講師依頼について 資料-7  
千葉県公立文化施設協議会より 12 月 12 日の技術研修会の講師依頼が来ており、講義内容が「安全な舞台運営について」がテーマなので、長原機構部会長を派遣する予定である。  
上記の説明が中川事務局長からなされ、審議に入り全員一致で可決承認された。

- 第 11 号議案 平井 哲史氏 正会員 C 入会について 資料-8  
平井氏は映像部会副部会長だが 10 月末で所属会社を定年退職となった後、引き続き来年 4 月末まで契約社員として勤務することになっているが、本人の意向で今回個人会員として正会員 C の入会申込があった。  
中川事務局長から上記の入会の説明があった後、同所属会社の小柳副会長から説明があった。  
平井氏との契約が遅くなり申し訳ないのですが、現状、ヒビノアークス株式会社との直接雇用契約が来年 4 月まであります。同会社の労働協約では、個人活動を承諾していない為、JATET での個人会員活動が出来ない事になります。また、仮に個人として JATET に入会する場合、入会規程の第 3 条 3 項によると正会員 C の要件は、「芸術家、学識経験者、劇場技術者」または、「劇場演出空間関連事業の設計及びコンサルタント業、サービス業、個人経営者」となっており正会員 C の要件を満たさない事になります。会社としては直接雇用で在籍中なので、今まで通り正会員 A として活動してほしいと考えている。来年 4 月以降も契約を継続する予定でいるが、個人として活動したいとの事であれば会社としても

応援したいと考えている。契約が遅れ今回の申請となったが、今回の申請に関しては、保留もしくは取り下げとさせて頂きたい。この件に関しては、平井氏とヒビノアークス社長と面談し、了解を得ているので宜しくをお願いします。

現状では、4月以降の動向が判断できないので保留ということで、審議する事となり、全員一致で可決承認された。

第12号議案 国際劇場産業展（THEATEX）後援名義の承認について 資料-9  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第13号議案 公共劇場舞台技術者連絡会技術研修会 講師依頼について 資料-10  
世田谷パブリックシアター熊谷氏より平成30年2月6日舞台機構の講師依頼が来ている。舞台機構についての講演なので、長原機構部会長を派遣する予定である。  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第14号議案 賛助会員 A コトブキシーティング(株)  
佐藤 勇樹氏 建築部会退部について 資料-11  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第15号議案 正会員 B (株) 安井建築設計事務所 山内 清史氏  
建築部会退部について 資料-12  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第16号議案 正会員 A (株) 橋田舞台設備 川添 基将氏  
機構部会退部について 資料-13  
中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

## 5. その他

### 1) 第40回、第41回定例理事会開催日程について

第40回は平成30年2月23日（金）14時から、

第41回は平成30年4月18日（金）14時からとする。




### 4) 閉会

15時50分 森会長が閉会を宣言して終了した。

平成29年11月28日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会  
第39回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 森健輔）	森 健輔	
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	
監事（間瀬勝一）	欠席	印
議事録作成署名人（西村岩夫）	西村 岩夫	

# 第40回 定例理事会

## 議 事 録

平成30年02月23日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

## 第40回 定例理事会 議事録

日 時：平成30年02月23日(金) 14:00~17:25

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 第一古川ビル TEL: 03-5289-8858

出席理事：森健輔会長、

西奈美博副会長(事業担当)、

小柳聡副会長(総務担当)、

大志万公博副会長(財務担当、広報担当)、

小川幹雄(国際渉外担当)、

山田芳久(業務担当、規程改訂作業部会)、

崎山征雄(専務理事、国内渉外担当、コンプライアンス担当)、

阿部茂樹、鈴木伸一、長谷川祥久、西村岩夫、河瀬靖憲

欠席理事：伊東(市来)邦比古、伊東正示

出席監事：尾澤輝行、間瀬勝一

欠席顧問：高田一郎

事務局：中川堅司(事務局長)

オブザーバー：中村剛

有効理事総数 14名、出席理事 12名、欠席理事 2名

出席率 86% 監事 2名、事務局 1名、オブザーバー 1名、計 16名

議事録署名人(書記) 河瀬靖憲

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 14名中、12名の出席、監事 2名、事務局 1名、オブザーバー 1名にて本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

議事次第

1. 議長選出

2. 議事録記録署名人選出

議事



### 3. 報告事項

1) 業務報告	森健輔会長	
2) 事業報告	西奈美博副会長	資料
-1		
3) 総務報告	小柳聡副会長	
4) 財務報告、広報活動報告	大志万公博副会長	
5) 規程改訂作業部会報告	山田芳久理事	
6) コンプライアンス報告	崎山征雄理事	
7) 国際協力報告	小川幹雄理事	
8) 事務局報告	中川堅司事務局長	
9) その他		

### 4. 審議事項

第1号議案	平成30年度事業計画の件	資料-2
第2号議案	平成30年度事業予算の件	資料-3
第3号議案	尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦について	資料なし
第4号議案	総会時の出席しない社員の書面による議決権行使について	資料なし
第5号議案	特定費用準備資金の取り扱いについて	資料-4
第6号議案	平成30年度資金運用計画について	資料-5
第7号議案	リスク管理規程について	資料-6
第8号議案	公益通報者保護規程について	資料-7
第9号議案	コンプライアンス規程について	資料-8
第10号議案	賛助会員B 廣瀬 信雄氏 退会について	資料-9
第11号議案	賛助会員B 森 保氏 退会について	資料-10
第12号議案	賛助会員B 会費未納者の会員資格喪失について	資料-11
第13号議案	JATET 誌 83号について	資料-12
第14号議案	久留米シティープラザ見学会について	資料なし
第15号議案	北海道セミナーについて	資料-13
第16号議案	平成30年度 総会懇親会の開催について	資料-14
第17号議案	持ち込み機材用電源（部会横断テーマ）に関する作業部会について	資料-15
第18号議案	「繊維ロープガイドライン」修正版について	資料-16
第19号議案	「吊物計算ソフトウェア」アップについて	資料-17
第20号議案	「JATET-M-4010-2 舞台機構操作で 사용되는用語と操作卸等の配置」 見直しについて	資料-18
第21号議案	「JATET-S-6010:2016 劇場等演出空間における音響設備動作特性の	

5. その他

- 1) 第41回定例理事会開催日程について

### 1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

### 2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人の選出。出席理事の中から議長が河瀬靖憲氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

### 3. 報告事項

#### 1) 業務報告

森健輔会長（資料-議事録）

下記の通り、第 39 回定例理事会以降の業務報告がされた。

平成 29 年 12 月 13 日（水）14:00～ 第 19 回事業執行連絡委員会

平成 30 年 1 月 16 日（火）10:00～ 第 20 回事業執行連絡委員会

平成 30 年 2 月 9 日（金）14:00～ 第 21 回事業執行連絡委員会

#### 2) 事業報告

西奈美博副会長（閲覧-事業報告）

各部会の活動報告詳細については議事録資料を参照。

教育研修部会では 8 月 30 日に「東広島芸術文化ホールくらら」の見学会を開催し、そのくららを特集した JATET ジャーナル Vol. 14 を 1 月末に発行し HP で公開した。12 月 25 日に「テレビ東京 BS ジャパン」を開催し、46 名が参加し盛況に終わった。尚、JATET ジャーナル Vol. 15 で特集を組み 3 月頃発行予定である。今年度に開催することで検討していた「久留米シティープラザ見学会」については、開催の準備が間に合わない見込みである。

次年度は、新設、改修された劇場、施設に対し、施設見学会を年 3 回の目標で開催する。施設見学会候補施設は、「久留米シティープラザ」「日本青年館ホール」「札幌文化芸術劇場」を予定している。見学会が開催された劇場、施設を JATET ジャーナルで紹介し、最新の劇場技術、リニューアルの事例等を全国に無償にて提供する予定。

建築部会では平成 21 年度に、劇場・ホールの可動可変をテーマにした調査研究を行なったが、その後の再調査を行う予定である。

次年度は、劇場・ホールの可変というテーマの中で近年取り上げるべき新たな切り口があればその動向を加えて調査研究する。常設設備での可変とは異なるが、近年仮設対応が進む動向について、平成 21 年度の調査方法を活用して調査研究を行う予定。

機構部会では、12月12日に千葉県公立文化施設協議会の依頼により、講師として長原部会長、櫻井委員の両名が、吊物機構安全指針の改訂について及びワイヤーロープについての講演を行った。2月6日に（公財）世田谷文化財団の依頼により、世田谷パブリックシアター公共劇場舞台技術者連絡会技術研修会講師として長原部会長、山田副部会長の両名が、JATET 吊物バトン積載量表示指針同解説についての講演を行った。繊維ロープガイドラインの修正版を作成し、作成後ホームページに公開予定。「JATET-M-6020-1 吊物バトン積載量表示指針」の見直しはホームページで公開しているが、追加で吊物計算ソフトウェアを作成してその後ホームページに公開予定。「JATET-M-4010-1 舞台機構操作で使用される用語と操作卸等の配置」の指針見直しを行い、ホームページに公開する予定。平成30年度の事業計画で改定後5年経過している指針の見直しの方針を決定した。次年度は、「JATET-M-5090 舞台機構設備機器保守点検時における安全作業指針」、「JATET-M-6040-1 舞台設備の運用操作の注意事項」の見直しと改定を行う。演出空間内での仮設持込機器の扱いについてのガイドラインについて検討していき、指針やガイドライン等の解説を JATET 誌や JATET ジャーナル等に掲載し HP 上でも公開し広く活用してもらう。JATET 技術展やセミナーにおいて舞台機構関連の技術や指針について発表を行う。

照明部会では、JATET 誌 83 号の特集テーマについては、「劇場・ホールに於ける持込機材・機器の対応について」でまとめたいと考えている。この他に1月の展示会・セミナーの報告や先般の照明部会のアンケート結果も掲載する予定でいる。

次年度は、JATET 安全手帳作成に関して、部会として演出照明設備に関する安全注意事項を取りまとめる。JATET 誌の発行に関して、部会としてテーマの設定及び編集に協力していく。JATET フォーラムが開催される場合は、照明部会として参加、協力をする。「D 型 30A 接続器の規格」化及び「照明用持込機器用電源盤の規格」化の検討については、持込対応として持込機器用電源盤への 220V 接続器常設も要望が高まっていく傾向で、「照明用持込機器用電源盤の規格」の具体的な設計基準を規格化するための検討をしていく。特に持込機器電源盤については、他部会との横断的な検討が必要となる。カラーLED 照明器具において、色度の再現を行うための調光レベルの公開について引き続き調査研究を進める予定。演出用照明器具の明るさについて、フィールド角やビーム角などの特殊な用語についてもガイドラインなどで定義することを検討する予定。

音響部会では JATET-S-6010:2016「劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」の解説書を策定中で年度内の発行を予定している。

次年度は、音響設備電源の要件並びに電力需要に関する調査研究を行う予定。劇場等演出空間施設の音響設備について、劣化診断を行うことで適正な更新時期を判

定するためのプログラムに関する調査研究を実施していく。オーディオネットワークの最新動向を継続的に収集すると共に今後増加傾向にある映像演出などへの音声信号の受け渡し方法について調査研究していく。「JATET 安全手帳」の取りまとめに伴う、音響部門における安全留意事項の調査研究をしていく。最新の連絡設備機器やインフラ及び今後連絡設備に求められる事項について調査研究していく予定。

映像部会では、次年度に外部講師によるセミナーとして、NHK:4K/8Kに関する最新技術、オリンピックへの取組、パブリック・ビューイングへの展開などの課題を議論する。また、高性能プロフェッショナルメディアネットワーク技術の動向に関するセミナーも開催する予定。持込機材の現状調査をする方針であり、仮設機器に関しては各部会横断での議論で進めていく。JATET 技術展 2018 セミナーの内容を地方でも行って欲しいとの要望があり、有料化したセミナーを検討していく予定。

広報部会では、12月25日に開催した「テレビ東京 BS ジャパン」見学会でアンケートを配布した。会員構成率として正会員 46%・賛助会員 10%・非会員 44%となっており、非会員の比率が想像以上に多かった。JATET のメールマガジン等でのお知らせで知った方が多く、HP などから積極的にアクセスした方が多いと思われ、会員増強の切り口を検討する材料になることがわかった。来年度は、JATET リーフレットについて、積極的に活用していき、内容については必要に応じて改訂していく予定である。また、英語版の作成を検討し、JATET 安全手帳の普及等へ協力していく。JATET の重要な広報媒体である JATET 誌の編集に際して、その内容がより読みやすく且つ魅力的なものであるよう、編集担当部会に協力をしていく。また、JATET フォーラム等の運営に協力していく予定。

#### イ. JATET 劇場演出空間技術展 2018 の開催について

下記の通り、第 39 回定例理事会以降の業務報告がされた。

平成 29 年 11 月 30 日 (木) 15:00～ 第 9 回技術展実行委員会

平成 29 年 12 月 13 日 (水) 10:00～ 第 10 回技術展実行委員会

平成 30 年 1 月 11 日 (木) 15:00～ 第 11 回技術展実行委員会

平成 30 年 2 月 9 日 (金) 13:00～ 第 12 回技術展実行委員会

平成 30 年 1 月 22 日 (月) ～25 日 (木) (仕込み日含む)

JATET 劇場演出空間技術展 2018 展示部門

平成 30 年 1 月 25 日 (木) ～26 日 (金)

JATET 劇場演出空間技術展 2018 セミナー部門

平成 30 年 2 月 14 日 (水) 14:00～

JATET 劇場演出空間技術展 2018 報告会

展示会の来場者数は419名、JATET関係者が150名、会場設営関係者が53名で総勢622名となった。セミナーは1日券の25日が73名、26日が121名、2日券が91名で合計285名、延べ376名となった。懇親会は招待者が73名中参加41で申し込み参加者が68名で、合計109名の参加となった。JATET誌82号は、技術展特集で印刷数5,000部の内4,326部が配布され、残数が674部となる。JATET技術展全体の決算報告としては、収入が特定費用準備金の¥3,500,000-を組み入れて¥16,575,538-となり、支出が未払い金の支払予定額を含めて¥16,565,840-以内に収まる見込みである。

#### ロ. JATET 技術展 2019 新国立劇場訪問報告

1月11日に森会長、西奈美実行委員長、中川事務局長が新国立劇場の畑中総務部長と濱技術部長に挨拶と2019年度のJATET技術展に協力をお願いするために訪問した。

#### ハ. JATET フォーラム 2018 について

1月24日に札幌市芸術文化財団側と今年9月開催予定のJATETフォーラム2018の打合せを行った。

### 3) 総務報告

小柳聡副会長

JATET 技術展 2018 関連の JATET 誌の印刷費や会場施工費等の請求書がきており、今月支払いは済んでいる。中川事務局長の契約について、1年契約としているが、引き続き契約をお願いしたいので、3月中に更新手続きをする予定。

税務署への申告にあたり、マイナンバーの取り扱いは個人情報保護規程に則り処理した。1月29日にJATET職員、アルバイト、原稿執筆者や講演料支払で年額5万円以上の方について、税務申告書に中川事務局長がマイナンバーを記入し、総務担当理事が立ち合いを行い、税務署へ送付した。正会員A ライティングビックワン株式会社の取締役名誉会長 前島幹彦様の社葬のご案内が届き2月7日(水)協会として弔電を会長名で出した。また、慶弔規程が古いものであり、組織名称や対象者などの記述に判断に迷う部分があるため、規程改訂作業部会で改訂をお願いしたい。

JATET 事務所の賃貸契約は、今年8月に更新手続きを行う予定。事務所コピー機のリース期限が来年9月となっているが、経費削減を考慮した上で、現在京セラとゼロックスの2社で見積を取り、価格は安くなっているので、見直しを検討中。

### 4) 財務報告、広報活動報告

大志万公博副会長

会計状況については、1月末まで確認が終わっており、問題はなし。JATET 技術展も赤字の懸念があったが、最終的には黒字で完了した。

会費の納入状況は、未納者に対して 12 月上旬に再々請求書を発行し、現在の会費未納入は正会員 C が 2 名、賛助会員 B が 1 名となっている。会費未納者賛助会員 B の 1 名は、2 年分滞納となるため、後の審議事項で会員資格喪失について審議をお願いすることになる。また、特定費用準備資金の区分管理、平成 30 年の資金計画について、新しい規程に則った形での審議を、後ほどお願いしたい。広報活動報告については、リーフレットに余裕があるので、何かの活動機会に配布いただきたい。JATET83 号の基本方針については、後程審議をお願いしたい。

5) コンプライアンス報告

崎山征雄理事

コンプライアンス規程の改訂について、4 月 1 日からの施行を予定しているので、ご確認をお願いしたい。

6) 規程改訂作業部会報告

山田芳久理事

理事の皆様には、下記の 3 つの規程の改訂案を事前にお送りしている。

- ・リスク管理規程（審議事項）
- ・公益通報者保護規程（審議事項）
- ・コンプライアンス規程（審議事項）

後ほど審議をお願いしたい。残りの規程についても出来るだけ早く改訂を進めていきたいと考えている。

7) 国際協力報告

小川幹雄理事

記述間違いによる KTL との覚書の差し替えの件、Mr. Won-Bok LEE 署名の書面が届いた。事務局で保管しているので確認ください。OISTAT については、前回の理事会以降、12 月 27 日にトークショー、並びに台湾で 7 月の WSD の報告会が実施された。あわせて、10 月 6 日に開催された総会の資料も事務局に送付されているので、希望の方は閲覧可能。

8) 事務局報告

中川堅司事務局長

本来なら、専務理事である崎山理事からの報告となるが、事務局に常勤されていないこともあるので、事務局長より報告。

イ. 内閣府情報

閲覧資料-内閣府情報

内閣府からの情報は、下記閲覧資料のとおり。

- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 36 号（平成 29 年 11 月 30 日発行）
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 37 号（平成 29 年 12 月 14 日発行）
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 38 号（平成 30 年 1 月 10 日発行）
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 39 号（平成 30 年 1 月 24 日発行）

- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 40 号（平成 30 年 2 月 8 日発行）
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 41 号（平成 30 年 2 月 21 日発行）

本日の審議事項でもある、次年度事業計画書等を 3 月 31 日までに内閣府への提出が求められている。例年一週間前には提出しているため、今年も同様に進めていく。平成 30 年 2 月 28 日に内閣府立ち入り検査を実施予定。事務局で適宜準備をしている。

#### ロ. 経済産業省情報&総務省

総務省から政府統計の活用に関するアンケート調査への協力願いが届いている。事務局で目を通したうえ、回答について会長、副会長に相談する。

#### ハ. JATET ニュース発行について

下記、3 号を配信した。

- ・ JATET ニュース第 190 号 （平成 29 年 12 月 4 日配信）
- ・ JATET ニュース第 191 号 （平成 30 年 1 月 15 日配信）
- ・ JATET ニュース第 192 号 （平成 30 年 2 月 5 日配信）

#### ニ. 会員情報

賛助会員 A 株式会社システムエンジニアリング 担当者変更

賛助会員 B 廣瀬 信雄氏 退会

賛助会員 B 森 保氏 退会

後程、審議をお願いする。

#### ホ. 諸団体情報

閲覧資料-諸団体情報

「平成 29 年度全国劇場・音楽堂等技術職員研修会 2018」が平成 30 年 3 月 7 日（水）～9 日（金）宮崎県立芸術劇場で開催される。その中で技術関係機器等展示事業への参加について、その詳細と参加案内が届いている。

#### ヘ. 会費納入状況&書籍販売状況

閲覧資料-会費納入状況

会費納入状況は、先ほど財務報告で報告した通り。規格販売状況は、昨年 4 月から本年 1 月までで累計 45 万 4100 円の販売実績となっている。(株) トータルオフィスパートナーから JATET 誌の発送依頼があり、送料のみ負担してもらい送付した。

#### ト. 請求書情報

閲覧資料-請求書情報

JATET 技術展 2018 関連の JATET 誌の印刷費や会場施工費等支払いの請求書が届いている。



チ. HP について

適宜更新しており、「東広島芸術文化ホール くらら」を特集した JATET ジャーナル Vol. 14 を公開した。

リ. 事務局関連

閲覧資料-事務局関連

今年度の各部会の「事業報告書」「決算書」の提出は、3月23日までをお願いしたい。本日の理事会で審議していただく「事業計画書、予算書」は、3月20日頃に内閣府へ提出予定である。選挙管理委員会として、3月2日に役員改選関連書類・立候補用紙を正会員に送付し立候補を受付、4月2日に立候補を締め切り、11日に第2回選挙管理委員会を行う予定。4月の理事会で立候補者の承認を得て、総会議案書は5月10日必着で正会員に送付する予定。

#### 4. 審議事項

第1号議案 平成30年度事業計画の件について

資料-2

平成30年度の事業活動の趣旨は資料2の2-1冒頭に記載。具体的な活動は各部会からの次年度の計画を事業計画にまとめた。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第2号議案 平成30年度事業予算の件について

資料-3

先ほどの事業計画案を基に、平成30年度の予算案を資料3-1に収支予算書、3-2に事業費内訳、3-3に管理費、3-4に公益認定要件をまとめている。受取入会金は平成29年同様に15.5万円、受取会費は会員増に伴い、1,612万円を計画している。事業収益については JATET フォーラム開催収益としてセミナー受講料180万円を計画、事業収益全体としては1,286万円を計画している。来年度は JATET 技術展が開催されないので、収益は今年度より1,000万円程度下がる予定。結果として経常収益は2913.5万円となる。経常費用の中の給与費用は事業費と管理費の合算になる。部会費については、各部会費用の合算に15万円を加算している。JATET フォーラム開催費用は北海道フォーラムと遠方のため240万円の予算で計画し、結果、事業費の合計として2,341万円となった。管理費については、ほぼ昨年同様の計画だが、所属団体会費は、公益法人協会セミナー参加費3万円を増額した計画とした。結果として、管理費は686.2万円、経常費用の合計は3027.2万円となり、一般正味財産の期首残高が1018.95万円、期末残高が905.25万円となっている。当期一般正味財産の増減額は今年度▲200万円を超えていたが、来年度は▲110万円に赤字幅を減らした計画となった。資料3-4の公益目的事業費率は、この段階で50%を超える、52.3%で見込んでおり、また遊休財産の保有制限も限度額以下となる見込み。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第3号議案 尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦について

役員選任規程では、(役員を選任)

『第6条 役員(理事及び監事)は定款第27条の定めにより、社員総会において、正会員(法人又は団体の場合にあつては、会員代表者とする。以下同じ)のうちから選任する。ただし、特に必要があると認められる場合は、理事にあつては2人、監事にあつては1人を限度として、理事会の承認を得て推薦された者が、総会の選挙で当選した場合に限り、正会員以外の者を理事又は監事に選任することを妨げない。』と規定しているので、尾澤監事に引き続き来期の監事をお願いするのであれば、本理事会で推薦を得る必要がある。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第4号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使について

定款では、(書面表決等)

第21条 社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的記録により表決し、又は代理人によつてその議決権を行使することができる。同条第4項で、社員総会に出席しない社員が書面によつて議決権を行使することができることとするときは、理事会の決議によらなければならないとある。これに基づき、理事会での承認が必要となるため承認をいただきたい。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第5号議案 特定費用準備資金の取り扱いについて

資料-4

大志万副会長(財務担当)から2019年度のJATET劇場演出空間技術展の開催のため、特定費用準備金として120万円を積立てる計画であると説明。中川事務局長から積立金額の根拠として、収支相償の考え方から収入から費用を差引いた額が最小化される金額が120万円であることが説明された。最後に大志万副会長から、協会の特定費用準備金は今年度で350万円の積立金をJATET技術展で取崩すために、最終的には来年度の北海道フォーラム向けの80万円と今回の積立予定の120万円の合計200万円が特定費用準備金として積立てられることになると説明があった。

説明の後、審議に入り全員一致で可決承認された。

第6号議案 平成30年度資金運用計画について

資料-5

大志万副会長(財務担当)から財産管理運用規定に基づき、資金運用執行責任者として財務担当理事の任命について説明があり、平成30年度の資金運用方針書の案が示された。

説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

#### 第7号議案 リスク管理規程について

資料-6

山田理事（業務担当）から事前に送付したリスク管理規程の改訂について説明。

西村理事から、第8条1項において「事業執行連絡委員会」を通じての報告となっているが、連絡先が特定しやすいように「上位者」という表現に変更してはどうか、また第14条で通報を受けるのは「事務局長」となっているが、「事務局長」を通らないルートもあるので、図と一致していないと意見があった。

鈴木理事から「事業執行連絡委員会」は理事会の諮問機関であり、経由せずに理事会へ早く情報を上げられるような単純な流れにしてはどうか、「事業執行連絡委員会」では組織図と異なり問題があるのではないかと意見があった。

大志万副会長から、危機管理は実効性が重要であり、「事業執行連絡委員会」よりも早く情報を上げることが出来る実体のある通報先として、「事務局」が最適ではと提案があった。

崎山理事から情報がどう流れるかを考えると「事務局、事務局長」から「上位者」に流れるのが自然である。またスピード感が大事だと指摘。

山田理事から、表は「事業執行連絡委員会」は削除し、「事務局」と「各部部长」から直接「理事会」へあがるように変更し、各条文の「事業執行連絡委員会」という表現は「上位者」に変更すると説明。

西村理事から第14条2項、「情報管理」は「情報」ではないか、第17条2号の「対策室事務局長」は「対策室長」ではないか、「専務理事」は専務理事不在の場合は、事務局長が代行するという事とも考えられるのではないかと指摘。

山田理事から「対策室事務局長」は「事務局長」とする。専務理事不在の場合は「事務局長」とすると説明。鈴木理事から「事務局長」は必ずしも会員でない可能性があるのではと指摘。大志万副会長から「事務局長」である意味は事務局に常時在席して活動できることに意味があるとの意見。崎山理事から大切なのはスピード感と客観性であり、会員外の外部の人間の方がいいのではと意見。大志万副会長から「又は会長の指名による。」という内容にしてはとの提案。崎山理事から一刻も早くとなると現実的には「事務局長」となり、事務局長から各部部长、上位の方が早く情報が伝わる。非常勤の人では時間の遅れが生じてしまうとの意見。鈴木理事から「事務局長」にそれだけの責任を負わせてもいいのかと指摘。大志万理事から「会長指名による」とし、中川事務局長は会員なので、現状では適任である。今後は事務局長改選時に職制として定義づけることが必要との提案。

崎山理事から例えば機構関係では仮設工事も多く事故もあり得る。事故発生時には役職の重さだけではなく、情報の流れるスピードが大切であり、それを会長、理事会がどう判断するかという体制にもっていかないといけないとの意見。

山田理事から「会長の指名による。」という文言へ変更すると説明。

西村理事から第26条の懲戒処分の内容について、定款には除名とあるが段階をおいた処分は無いのか、弁明の機会が無いのか、第26条（懲戒の内容）と27条（除名処分）の関係が不自然、職員と会員では異なるのではないか等の質問があり、大志万副会長からJATET規程の中に、懲戒規程が無い状況で本規程にだけ懲戒の条項があることになっている。職員について別に就業規則の見直しが必要。現状では懲戒の条項は削除して、全体の懲戒規程が制定された時に見直しを行うことを提案。

山田理事から第4章懲戒等は削除すると説明。

上記の審議ののち、森会長から、今回の内容を修正した改定案を書面審議として、理事、監事に回議をしますので、確認を行うように指示があった。

#### 第8号議案 公益通報者保護規程について

資料-7

山田理事から資料7に基づき規程案の説明と（懲戒等）第11条は第7号議案同様の課題があると説明。説明の後に以下の審議がなされた。

崎山理事から規程が重複している感じがするので、第三者に一貫性があるのか確認をしてみてもとの提案。

西村理事から公益法人モデル定款三訂版の第13条に懲戒についての記載があるので参照にされてはと提案。

審議を経て、山田理事から本規定に関しては、第7号議案同様に懲戒を削除する方向で修正案を作成。懲戒についてはご指摘いただいた内容をもとに懲戒規程を設ける方向で検討するとされた。

審議ののち、森会長から、今回の内容を修正した改定案を書面審議として、理事、監事に回議をするので、確認を行うように指示があった。

#### 第9号議案 コンプライアンス規程について

資料-8

山田理事から資料8に基づき規程案の説明。

崎山理事から内閣府はコンプライアンスに関して具体的にどう言っているのかと質問。事務局長から具体的には無く、法令遵守という視点で事業活動をしっかりやりなさいと指導されている。

崎山理事から、最近では具体例としてハラスメント、特にセクハラ、パワハラへの対応が非常に厳しいと言われている。ハラスメントはどこかの規程に入れておく必要がある。場合によっては数千万円の賠償を訴えられるケースもある。またグローバルでは益々リスクが高くなり、保険とともに担保をどうするかも考えないといけない。

森会長から、ハラスメントは組織により扱いが異なるが、森会長の会社ではコンプライアンスの中に規定している。

中川事務局長から今度の内閣府の立会検査時に、具体的な質問事項等を検討する。  
大志万副会長から本規程含め、組織に対して、被害が及ばないようにするためにはある程度の規程は必要。コンプライアンス規程としては、大枠としてはこの内容からのスタートで良いと思われる。

崎山理事からは内閣府が何を狙っているのか聞きたい。

鈴木理事からハラスメントについてはコンプライアンス担当理事から何らかの方針などを示されるのかと質問。崎山理事からやはり行政が何を考えているのかを把握し、その方針にそって動くべきであるとの意見があった。

審議ののち、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案 賛助会員 B 廣瀬 信雄氏 退会について 資料-9

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第 11 号議案 賛助会員 B 森 保氏 退会について 資料-10

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第 12 号議案 賛助会員 B 会費未納者の会員資格喪失について 資料-11

財務報告で会費未納者について報告されたが、賛助会員 B 中俣美沙氏は、現時点で平成 28 年度賛助会員会費及び平成 29 年度賛助会員会費が未納となっている。定款第 9 条に基づく、会員の資格喪失について中川事務局長から説明。

大志万副会長から前例の有無について質問があり、中川事務局長から事例有と回答。森会長から前回の内閣府の立会検査での指摘事項なので、確実に実行する必要があると指示。中川事務局長から事務局内で検討し、2月の理事会審議事項とすることで1年以上の未納に対して2年の猶予を見るように運用していると説明。大志万副会長から前例との不公平感が無いように進めてほしいと意見。

事務局から、前例としては小野田さんが同様の処置を行っているとの説明。

中川事務局長から説明のあと、審議ののち全員一致で可決承認された

第 13 号議案 JATET 誌 83 号について 資料-12

中川事務局長から JATET 誌 83 号の編集担当は照明部会となり、テーマは「劇場・ホールに於ける持ち込み機材・機器の対応について」となる。JATET 誌の発行部数、予算、広告募集についてもご判断願いたい。広告募集は、3月中には送付し6月末を締め切りとすると説明。大志万副会長からの補足として、理事会の中で方針として事業計画の中に JATET 誌の計画を織り込むことを決定しており、2月の理事会で編集テ-

マ、構成、日程、予算についての大まかな方針を承認いただきたい。各部会からも各部会の共通議題でもある、持ち込み機材についてスタートラインでの現状と問題点、何を対応していけばいいかの意見を出してもらい、まとめていきたいというのが照明部会長からの意見である。構成は81号からの類推とし、スケジュールについては8月末目標とし、予算については収入500万円、支出300万円で計画していると説明。説明のあと、審議に入り全員一致で可決承認された。

第14号議案 久留米シティープラザ見学会について 資料なし

教育研修部会より今年度末に開催することで検討しており、本来この2月の理事会で見学会についての概要を審議いただく予定だったが、現時点では教育研修部会から詳細が届いていないので、4月以降の理事会で審議を行う。

中川事務局長から説明のあと、審議に入り全員一致で4月以降の理事会で審議することが可決承認された。

第15号議案 北海道セミナーについて 資料-13

資料の13-1, 2, 3が前回の打合せから概要検討事項として事務局側でまとめた資料で、13-4が予算表の案である。第39回定例理事会で北海道セミナーを行うことは決議されており、日程を平成30年9月6日(木)～7日(金)の2日間で検討した。

1月24日に札幌市民交流プラザ開設準備室の方が、技術展の会場に訪れて打合せを行った。事業執行連絡委員会でもどれくらいの集客が見込めるか、過去の北海道地域での関連団体のセミナーでも100名集めるのは難しいなどの意見もあり、スタッフやセミナー講師も最小限にして検討している。開設準備室の伊藤氏からはJATETとして出来ることを提案して欲しいと要望されている。2日目の午後にシンポジウムを企画し、主要都市との技術情報ギャップを埋めるための、開設準備室、運営スタッフ、施工会社とJATET会員での意見交換の場としたい。その後に施設見学会を行い、見学を通して地方の大型舞台を持った施設の活用方法等についても意見交換したい。

予算についての試算では、何とか200人を集客することとし、今回はシンポジウムがメインなので、2日券のみを考えている。最終的には会場費用を無償でお願いするなど、各費用を見直す中で、10万円程度の赤字としている。

大志万副会長から教育研修部会が計画している劇場見学会に札幌が入っているが、関係は明確になっているのかとあり、中川事務局長から、今のところ連携はとれていないが、今後調整していくと説明があった。

大志万副会長から、100人であれば50万円程度の赤字になっており厳しい内容になっていると指摘。中川事務局長から、北海道内の公共文化施設や関係団体だけでは100人程度の集客が限度と思われる。札幌に支店をもっておられる会員の皆様や関係団体にお願ひし、全国から動員のご協力をお願ひしたい。そういう意味でチラシなどの予

算をとっている。チラシの配布方法含め、各所へのアプローチ方法も議論をお願いしたい。

長谷川理事より北海道で100人集められる可能性の有無について質問。中川事務局長から新しい劇場を紹介したいという財団側の要望と、JATETとして道内の各施設に技術的な最新情報を紹介したいという思いがあって、100人という人数を考えている。

長谷川理事より非会員の2日通し券が7,560円とあり、この金額について、伊藤氏に連絡しているか？価格が高いと指摘はないか？と質問。中川事務局長よりJATET側からはフォーラムとしては通例に従った価格設定であると説明する予定である。200人集まれば価格を下げることもあり得ると回答。

西村理事よりシンポジウムの出席者は誰を予定しているか？と質問。中川事務局長より現在は講師を想定している。

西村理事より経費が6名分なので不足しているのでは？と質問。中川事務局長からセミナー講師は音響、照明、機構、建築が各1名で、映像は2名で考えている。できれば各部会1名で5名にしたい。飛行機代は出来るだけ安いチケットを手配することを考えている。

大志万副会長から予算的には厳しい。資料-1に前回の技術展セミナーの実績が出ているが、285枚を売上げ、会員へ217枚販売しているが各協力団体に動員をかけているところもあり、北海道ではこの数字は難しい。厳しめに計画し、赤字でも許容できるかという見方が必要。

中川事務局長より100名参加の場合は支出も調整している。現実的には非会員の100人というのは、北海道内の公共施設の方を想定している。先ほど長谷川理事からの指摘の通り非会員7,560円では高すぎるとなれば、会員のチケット価格も見直すことになり、結果として赤字が増加するので、支出の見直しも必要となる。

大志万副会長から会場関係費用は会館側からは0でいいと返答が来ているのか？と質問。中川事務局長からは、オープン前のイベントなので、無償で提供をお願いする予定。大志万副会長から早めに会館側へ打診したほうがいいのではと質問。中川事務局長より、本理事会での審議後に連絡予定であり、JATET主催のフォーラムとした場合の検討書と予算書を提示する。札幌の財団主催の企画にJATETが共催として協力するという形については今後の相談になる。

長谷川理事より赤字が見込まれる事業はやってはいけないということは無いと思うが、実施した場合にJATETにどういうメリットがあるのかを説明していただきたい。本日の段階では少し説明が不足している。

中川事務局長から会員増強が大きな趣旨の一つであると回答。

大志万副会長から提案の質問のあった会場費用の件も、新国立でオペラ劇場を借りれば、200万必要なので、無償で会場を提供いただけるかどうかを詰めて相談いただくことと、長谷川理事からの開催意義の詰め方も双方にとって意義があるので、多少

費用がかっても、実施すべきか否かをもう少し論議を詰めたほうがいいのではと提案があった。中川事務局長から3月初めに先方とのアポイントを取るの、内容を執行理事の皆様と相談し、その後理事の皆様へ報告していくという形で、進めたいと提案があった。

長谷川理事より本件の実行委員会を設置し、作業を進めていくのが良いと提案。中川事務局長からは、実行委員会を組織して進めることになっていると報告。

審議ののち、森会長より第15号議案については決議を行わずに、調整結果を連絡することと、事務局に指示があった。

#### 第16号議案 平成30年度 総会懇親会の開催について

資料-14

平成30年度通常総会は、5月24日(木)14:00～新宿ローズガーデンで行う予定となっている。総会後の懇親会について以前は費用を全て協会で負担していたが、レストランのシステム変更に伴い、前回から有料化(3,000円)で開催しているが、資料のように▲50万円程度の赤字となる。過去は▲60万円程度であった。今回の懇親会の有料化と料金設定について審議いただきたいと説明があった。

長谷川理事より前回の懇親会は何人が集まったのかと質問。中川事務局長から45名で3,000円と回答。

長谷川理事から安い会場は無いのかと質問。事務局から総会後の立食パーティーということで、ホテルのレストランを選定していると回答。

小川理事から技術展の懇親会の費用について質問。中川事務局長から9,000円プラス消費税と回答。

審議ののち、第16号議案は事務局提案の3,000円での有料化という案が全員一致で可決承認された。

#### 第17号議案 持ち込み機材用電源(部会横断テーマ)に関する作業部会について

資料-15

照明部会の平成30年度の事業計画として、「照明用持込機器用電源盤の規格」の具体的な設計基準を規格化する検討を行うとなっており、この中で、特に持込機器電源盤に関しては、他の部会との横断的な検討が必要であるとされている。音響部会や映像部会でも、持込機器への電源対応に関するテーマを上げており、機構部会も演出空間内での仮設持込機器の扱いについてのガイドラインの検討がテーマのひとつになっている。事業執行連絡委員会の場合でも、持込機器用電源盤は部会横断的テーマとして取り扱う必要性についての議論がされており、作業部会を構成して検討を進めていくことを提案する。

審議に入り、作業部会の設立は全員一致で可決承認された。

引き続き、担当理事、主査についての審議が行われ、会長から担当理事として西奈



美副会長、作業部会長として照明部会の加藤部会長が推薦された。

審議ののち、全員一致で可決承認された。

第 18 号議案 「繊維ロープガイドライン」 修正案について 資料-16

機構部会より、「繊維ロープガイドライン」の作成と作成後のホームページ公開についての承認議案が資料とともに提出されている。

上記の説明が中川事務局長からなされ、審議に入り全員一致で可決承認された。

第 19 号議案 「吊物計算ソフトウェア」のホームページ上へのアップについて

資料-17

機構部会より、「JATET-M-6020-1 吊物バトン積載量表示指針」の見直しはすでにホームページで公開されているが、追加で「許容積載量計算ソフト」の作成及びホームページ公開について承認いただきたいとのこと。

上記の説明が中川事務局長からなされ、審議に入り全員一致で可決承認された。

第 20 号議案 「JATET-M-4010-1 舞台機構操作で使用する用語と操作釦等の配置」

見直しについて

資料-18

機構部会より、「JATET-M-4010-1 舞台機構操作で使用する用語と操作釦等の配置」指針の改訂及びホームページ公開について審議いただきたいとのこと。

上記の説明が中川事務局長からなされ、審議に入り全員一致で可決承認された。

第 21 号議案 「JATET-S-6010:2016 劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定

方法」解説書の発行について

資料-19

既に「JATET-S-6010:2016 劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」規格を発行しているが、音響部会で検討を進めてきた規格の解説書について、今年度内に発行できる最終段階となっている。尚、既に規格を購入している方には、郵送で解説書を送る予定。印刷費は、30 ページ 200 部、モノクロで 4 万円。発送費は、125 件発送で約 3 万円かかる見込み。

上記の説明が中川事務局長からなされ、審議に入り全員一致で可決承認された。

## 5. その他

第 41 回定例理事会開催日程について

第 41 回は平成 30 年 4 月 18 日（水）14 時からとする。




閉会

17 時 25 分 森会長が閉会を宣言して終了した。

平成30年02月23日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会  
第40回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 森健輔）	森 健輔	
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	
監事（間瀬勝一）	間瀬 勝一	
議事録作成署名人（河瀬靖憲）	河瀬 靖憲	